

令和3年度事業報告書

令和4年5月

横浜市立みなと赤十字病院

目 次

1	概要	1
1-1	施設概要	
1-2	建物図	
1-3	施設基準取得状況	
2	政策的医療	10
2-1	24時間365日の救急医療及び二次救急医療	
2-2	小児救急医療	
2-3	周産期救急医療	
2-4	精神科救急医療	
2-5	精神科身体合併症医療	
2-6	緩和ケア医療	
2-7	アレルギー疾患医療	
2-8	障害児者合併症医療	
2-9	災害時医療	
2-10	市民の健康危機への対応	
3	指定管理者独自の取組	24
3-1	新型コロナウイルス感染症への対応	
3-2	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会	
4	地域医療の質の向上に向けた取組	28
4-1	医療における安全管理（安全）	
4-2	医療における安全管理（感染）	
4-3	医療倫理に基づく医療の提供	
4-4	地域医療機関との連携・支援（医療連携課）	
4-5	地域医療機関との連携・支援（療養・福祉相談室）	
4-6	市民委員会	
4-7	治験・受託研究	
4-8	患者・市民に対する相談・啓発活動	
4-9	患者サービス	
4-10	医療データベースの構築と情報提供	

5	職員研修	54
5-1	職員研修（医師）	
5-2	職員研修（看護部）	
5-3	職員研修（薬剤部）	
5-4	職員研修（医療技術部門）	
5-5	職員研修（事務部）	
6	院外からの研修受入れ	65
6-1	院外からの研修受入れ（医師）	
6-2	院外からの研修受入れ（看護部）	
6-2	院外からの研修受入れ（薬剤部）	
6-3	院外からの研修受入れ（リハビリテーション科部）	
7	職員	70
7-1	組織図	
7-2	職員配置状況	
8	施設管理	73
8-1	医療機器の整備状況	
8-2	施設設備改修報告	
8-3	施設設備管理報告	
8-4	外部委託	
9	経営報告	80
9-1	稼働状況等報告	
9-2	中央部門業務報告	
9-3	決算書	

1 概要

1-1 施設概要

1 名称

横浜市立みなと赤十字病院

2 開設者

横浜市長（指定管理者として日本赤十字社が運営）

3 開設年月日

平成 17 年 4 月 1 日

4 病床数

634 床（一般 584 床、精神 50 床）

5 標榜科

内科、内分泌内科、血液内科、腎臓内科、リウマチ科、緩和ケア内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、脳神経内科、アレルギー科、精神科、小児科、外科、消化器外科、大腸外科、肝臓外科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、救急科、病理診断科

以上 36 科

6 沿革

- ・平成 15 年 3 月 横浜市立病院あり方検討委員会（横浜市長の諮問機関）が新病院を公設民営とする最終答申を提出
- ・平成 15 年 9 月 横浜市会で新病院運営の公設民営化を決定
- ・平成 15 年 11 月 横浜市が指定管理者評価委員会を設置
日本赤十字社が指定管理者提案申込書を横浜市に提出
- ・平成 16 年 1 月 評価委員会が提案書による競争の結果として、「指定管理者として日本赤十字社がふさわしい」との評価報告書を市長に提出
- ・平成 16 年 2 月 横浜市会で日本赤十字社を指定管理者として決定
- ・平成 16 年 9 月 横浜市会で新病院名称を「横浜市立みなと赤十字病院」に決定
- ・平成 17 年 4 月 横浜市立みなと赤十字病院が開院 初代院長 西岡 清
病床数 584 床、23 診療科
瀬谷区にあった横浜市小児アレルギーセンター（平成

17年3月31日閉院)の機能を移転

- ・平成18年4月 精神科診療開始(入院は平成19年5月から)
- ・平成18年9月 地域医療機関向け広報誌「みなとからの風」発刊
- ・平成19年3月 病院機能評価 Ver5.0 取得
- ・平成19年5月 精神科50床運営開始、病床数634床
- ・平成19年7月 新潟県中越沖地震発生、救護班派遣
- ・平成21年2月 地域医療支援病院承認
- ・平成21年4月 救命救急センターの指定
- ・平成22年3月 神奈川県DMA T指定病院
- ・平成22年7月 第2代院長 四宮 謙一 就任
- ・平成23年3月 東日本大震災発生、救護班・神奈川DMA T派遣
災害備蓄倉庫竣工
- ・平成23年5月 病院広報誌「みなと赤十字病院だより」発刊
- ・平成23年11月 がんセンター、がん相談支援センター開設
- ・平成24年3月 病院機能評価 Ver6.0 取得
- ・平成24年4月 地域がん診療連携拠点病院の指定
- ・平成24年7月 地域周産期母子医療センターの認定
- ・平成24年11月 病院広報誌リニューアル、「みんなのみなと」発刊
- ・平成25年1月 PET/CT導入
- ・平成25年4月 標榜科を23診療科から36診療科へ細分化
- ・平成26年2月 手術支援ロボット「ダ・ヴィンチ」導入
- ・平成26年3月 神奈川県DMA T-L指定病院
- ・平成26年11月 海難事故や災害時に、当院ヘリポートの使用を第三管区
海上保安本部と合意
- ・平成27年4月 臨床試験支援センター開設
リハビリテーションセンター開設
外傷センター開設
心臓病センター開設
- ・平成27年9月 平成27年9月関東・東北豪雨発生、救護班・神奈川DMA
T派遣
- ・平成27年10月 カスタマーリレーションセンター開設
新MRI導入(PHILIPS社製 Ingenia 3.0T CX)
- ・平成28年4月 平成28年4月熊本地震発生、救護班派遣
- ・平成28年5月 東京国際空港(羽田空港)大韓航空機火災事故に救護班を
派遣
- ・平成29年3月 病院機能評価(一般病院2 3rdG: Ver1.1)取得
- ・平成29年4月 第3代院長 野田 政樹 就任
入院支援センター開設

- ・平成 29 年 6 月 人間ドック健診施設機能評価の認定を取得
- ・平成 30 年 2 月 横浜市乳がん連携病院に指定
- ・平成 30 年 4 月 ハイブリット手術室 稼動開始
D P C 特定病院群に指定
入院支援センターを入退院支援センターに組織変更
- ・平成 30 年 9 月 北海道胆振東部地震発生、救護班派遣
- ・平成 30 年 10 月 神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院に選定
- ・平成 31 年 2 月 特定行為研修指定研修機関に指定
- ・平成 31 年 4 月 神奈川県難病医療支援病院に指定
- ・令和元年 6 月 第 4 代院長 伊藤 宏 就任
- ・令和元年 9 月 京急線・トラック衝突事故に神奈川 D M A T 派遣
令和元年台風第 15 号災害発生、千葉県に救護班派遣
- ・令和 2 年 1 月 がんゲノム医療連携病院に指定
- ・令和 2 年 2 月 新型コロナウイルス感染症に係るクルーズ船対応に D M A T 派遣
- ・令和 2 年 9 月 JMIP（外国人患者受入れに関する認証制度）の認証を取得
- ・令和 2 年 12 月 横浜市認知症疾患医療センターに指定
- ・令和 3 年 7 月 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会時の大会
関係者受入れ

1-2 建物図

屋上	ヘリポート
8階	病棟 コンシェルジュデスク
7階	A病棟 B病棟 C病棟 D病棟
6階	A病棟 B病棟 C病棟 D病棟 患者図書室
5階	A病棟 CD病棟 NICU 透析室 精神科外来 めまい・平衡神経科外来 化学療法センター スキルラボ 理容室 コンビニエンスストア
4階	電気室・機械室
3階	管理部門（院長室、副院長室、看護部長室、事務部長室） 救急病棟 ICU HCU 手術室 心臓カテーテル室 医局 医局図書室 看護部 事務部 会議室
2階	健診センター プレストセンター アレルギーセンター 緩和ケアセンター 放射線科（X線撮影、CT、MRI、血管撮影、心臓カテーテル） 内視鏡検査室 感染管理室 検査部（検体 輸血 病理 細菌） 調度課・SPD MEセンター 栄養課 調理室
1階	総合内科（内分泌内科、リウマチ科、血液内科） 消化器内科 外科 心臓病センター（循環器内科、 心臓血管外科） 脳神経センター（脳神経内科、脳神経外科） 麻酔科 呼吸器病センター（呼吸器 内科・呼吸器外科） 整形外科 泌尿器科 皮膚科 腎臓内科 耳鼻いんこう科 眼科 小児科 産婦人科 形成外科 歯科口腔外科 リハビリテーション科 薬剤部 中央検査（採血 尿検査 心電図 超音波 筋電図 脳波） 救急外来（受付、診察室、処置室、X線撮影、CT室） 総合案内 入退院支援センター 医療連携センター（療養・福祉相談室、がん相談支援センター、 認知症疾患医療センター） 栄養指導室 初診受付 再診受付 再来受付コーナー 保険証確認窓口 処方箋 FAX コーナー 証明書発行受付 中央待合ホール 自動精算機 正面入口 時間外入口 緩和ケアセンター入口 防災センター レストラン カフェ ATM コンビニエンスストア
B1階	放射線科（RI リニアック PET/CT） 地下出入口 地下駐車場 霊安室 職員食堂
B2階	免震ピット

1-3 施設基準取得状況

1 基本診療料

地域歯科診療支援病院歯科初診料 歯科外来診療環境体制加算 2
歯科診療特別対応連携加算 急性期一般入院基本料 1 総合入院体制加算 1
救急医療管理加算 超急性期脳卒中加算 診療録管理体制加算 2
医師事務作業補助体制加算 2 (50対1)
夜間100対1急性期看護補助体制加算
急性期看護補助体制加算 (25対1) 看護職員夜間配置加算 (12対1)
療養環境加算 重症者等療養環境特別加算 無菌治療室管理加算 1
緩和ケア診療加算 精神科応急入院施設管理加算 精神病棟入院時医学管理加算
摂食障害入院医療管理加算 栄養サポートチーム加算 医療安全対策加算 1
感染防止対策加算 1 患者サポート体制充実加算 褥瘡ハイリスク患者ケア加算
ハイリスク妊娠管理加算 ハイリスク分娩管理加算
精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 呼吸ケアチーム加算
後発医薬品使用体制加算 1 病棟薬剤業務実施加算 1 病棟薬剤業務実施加算 2
データ提出加算 2 入退院支援加算 1 認知症ケア加算 1
せん妄ハイリスク患者ケア加算 精神疾患診療体制加算 排尿自立支援加算
地域医療体制確保加算 地域歯科診療支援病院入院加算 救命救急入院料 1
特定集中治療室管理料 1 ハイケアユニット入院医療管理料 1
小児入院医療管理料 4 緩和ケア病棟入院料 1 精神科救急・合併症入院料

2 特掲診療料

歯科疾患管理料の注11に掲げる総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料
ウイルス疾患指導料 外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準
心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算
糖尿病合併症管理料 がん性疼痛緩和指導管理料
がん患者指導管理料イ がん患者指導管理料ロ がん患者指導管理料ハ
がん患者指導管理料ニ 外来緩和ケア管理料 糖尿病透析予防指導管理料
小児運動器疾患指導管理料 乳腺炎重症化予防ケア・指導料
婦人科特定疾患治療管理料 地域連携小児夜間・休日診療料 2
院内トリアージ実施料 ニコチン依存症管理料
開放型病院共同指導料 ハイリスク妊産婦共同管理料 (I)
がん治療連携計画策定料 外来排尿自立指導料 ハイリスク妊産婦連携指導料 1
肝炎インターフェロン治療計画料 薬剤管理指導料
医療機器安全管理料 1 医療機器安全管理料 2 医療機器安全管理料 (歯科)
精神科退院時共同指導料 2 在宅患者訪問看護・指導料
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
持続血糖測定器加算 (間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)

及び皮下連続式グルコース測定

持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）

有床義歯咀嚼機能検査 1 のイ 有床義歯咀嚼機能検査 1 のロ及び咀嚼能力検査

遺伝学的検査 骨髄微小残存病変量測定 BRCA 1 / 2 遺伝子検査

がんゲノムプロファイリング検査 先天的代謝異常症検査

HPV 核酸検出及び HPV 核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）

ウイルス・細菌核酸多項目同時検出 検体検査管理加算 I 検体検査管理加算 II

遺伝性腫瘍カウンセリング加算

心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算 胎児心エコー法

時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト ヘッドアップティルト試験

長期継続頭蓋内脳波検査 脳波検査判断料 1 単線維筋電図 神経学的検査

補聴器適合検査 小児食物アレルギー負荷検査 内服・点滴誘発試験

画像診断管理加算 1

ポジトロン断層撮影又はポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影

CT 撮影及び MRI 撮影 冠動脈 CT 撮影加算 心臓 MRI 撮影加算

抗悪性腫瘍剤処方管理加算 外来化学療法加算 1 連携充実加算

無菌製剤処理料 脳血管疾患等リハビリテーション料（I）

運動器リハビリテーション料（I） 呼吸器リハビリテーション料（I）

歯科口腔リハビリテーション料 2 がん患者リハビリテーション料

抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）

医療保護入院等診療料 エタノールの局所注入（甲状腺）

エタノールの局所注入（副甲状腺） 人工腎臓

導入期加算 2 及び腎代替療法実績加算 腎代替療法指導管理料

透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算 下肢末梢動脈疾患指導管理加算

手術用顕微鏡加算 CAD / CAM 冠

皮膚悪性腫瘍切除術（悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。）

組織拡張器による再建手術（一連につき）（乳房（再建手術）の場合に限る。）

椎間板内酵素注入療法

脳刺激装置植込術（頭蓋内電極植込術を含む。）及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術

仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（過活動膀胱）

緑内障手術（水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術） 鏡視下喉頭悪性腫瘍手術

鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む）

内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術

（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術

乳がんセンチネルリンパ節加算 1 及びセンチネルリンパ節生検（併用）

乳がんセンチネルリンパ節加算 2 及びセンチネルリンパ節生検（単独）

乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房

切除術（腋窩郭清を伴うもの）

ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）

食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腔腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）

経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの） 胸腔鏡下弁形成術

胸腔鏡下弁置換術 経カテーテル大動脈弁置換術

不整脈手術（左心耳閉鎖術（経カテーテル的手術によるもの）に限る）

経皮的中隔心筋焼灼術 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術（リードレスペースメーカー）

両心室ペースメーカー移植術（心筋電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（心筋電極の場合）

植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極除去術

植込型除細動器移植術（心筋リードを用いる場合）及び植込型除細動器交換術（心筋リードを用いる場合）

植込型除細動器移植術（経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの）、植込型除細動器交換術（その他のもの）及び経静脈電極除去術

両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（心筋電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（心筋電極の場合）

両心室ペースメーカー移植術（経静脈電極の場合）及び両心室ペースメーカー交換術（経静脈電極の場合）

両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術（経静脈電極の場合）及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術（経静脈電極の場合）

大動脈バルーンパンピング法（IABP法）

経費的循環補助法（ポンプカテーテルを用いたもの）

腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）

バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術

胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）

体外衝撃波胆石破砕術 腹腔鏡下肝切除術 体外衝撃波膵石破砕術

腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術

腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

体外衝撃波腎・尿管結石破砕術

腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合） 膀胱水圧拡張術

腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術

腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術

腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
腹腔鏡下仙骨隆固定術
腹腔鏡下仙骨隆固定術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
手術の休日加算 1、時間外加算 1 及び深夜加算 1
胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。）
輸血管管理料 I 輸血適正使用加算 自己生体組織接着剤作成術
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算 胃瘻造設時嚥下機能評価加算
歯周組織再生誘導手術 広範囲顎骨支持型装置埋入手術
歯根端切除手術の注 3 麻酔管理料（I） 麻酔管理料（II）
放射線治療専任加算 外来放射線治療加算 高エネルギー放射線治療
1 回線量増加加算 画像誘導放射線治療加算（IGRT）
体外照射呼吸性移動対策加算 定位放射線治療
定位放射線治療呼吸性移動対策加算 病理診断管理加算 1
悪性腫瘍病理組織標本加算 クラウン・ブリッジ維持管理料

3 入院時食事療養

入院時食事療養 I 特別食加算 食堂加算

4 評価療養

医薬品の治験に係る診療
医療機器の治験に係る診療

5 選定療養

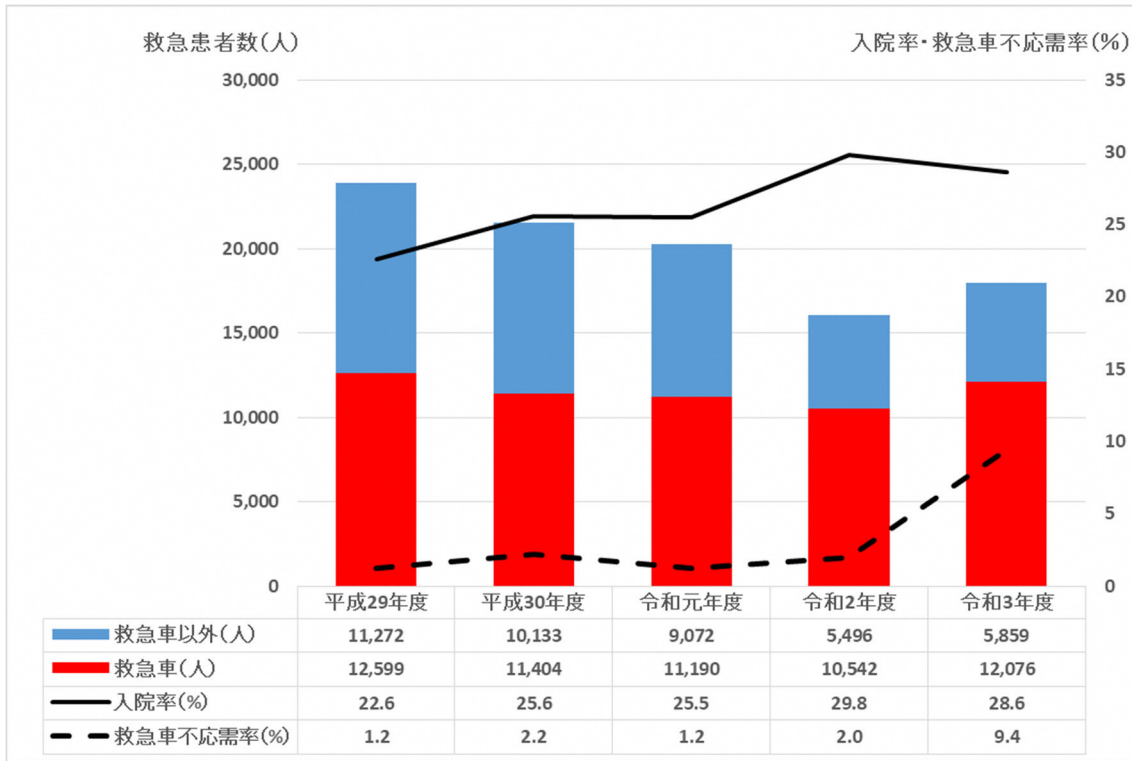
特定機能病院、地域医療支援病院及び外来機能報告対象病院の初診
入院医療に係る特別の療養環境の提供 入院期間が 180 日を超える入院

2 政策的医療

2-1 24時間365日の救急医療及び二次救急医療

1 データ

来院経路別救急患者数と入院率・救急車不応需率



2 成果

救急車による受入患者数は令和3年度12,076名であり、前年度から大きく増加した一方、救急車要請の不応需率は2.0%から9.4%に大きく増加した。新型コロナウイルス感染症の第5波および第6波時に横浜市内の救急車搬送困難事案が大きく増加したのに伴い、救急車受入要請件数が大きく増加したと同時に、コロナ病床逼迫により不応需件数も多くなったことによる。入院率の低い救急車以外の独歩受診者はコロナ禍で大きく減少しているため、救急患者全体の入院率は28.6%と高止まりしている。令和3年も全国救命救急センター充実段階評価において、最上位のS評価（全国で98施設、横浜市で4施設）を4年連続で得ることができた。引き続き、救命救急センターの質の向上に努めていきたい。

3 課題

新型コロナウイルス感染症第5波および第6波において、横浜市内の救急車搬送困難が続いた。特に第6波では、コロナ以外の救急患者を含め遠方から当院への救急車受入要請が大きく増加し、救急初療室は患者で溢れかえる時間帯が続いた。パンデミック時の救急搬送困難については1病院のみで解決できる問題ではなく、今後の地域全体の医療提供体制の課題である。

また、救命救急センター発足以来の懸案であった救急外来部門の狭隘問題は、今後の拡張再整備を予定している。

2-2 小児救急医療

1 データ・成果

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
小児科救急患者数	2,961 件	2,460 件	932 件	1,353 件
うち、入院患者数	295 件	262 件	113 件	167 件
救急車受入件数	868 件	815 件	444 件	652 件
新入院患者数	1,251 人	1,160 人	679 人	703 人
児童虐待防止委員会	定例会 2 回	定例会 2 回	定例会 2 回	定例会 2 回
	臨時 5 回	臨時 6 回	臨時 0 回	臨時 3 回

近年の小児人口の減少、予防接種の普及による急性疾患の減少により、救急患者数の減少している。令和 2 年度は新型コロナウイルスの発生による急性疾患の減少、病院忌避による受診抑制が重なり、いずれの指標も減少した。令和 3 年度は若干増加したものの、前水準には戻っていない。

地域の小児救急患者には適切に対応している。

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元 年度	R2 年度	R3 年度
新生児搬送受入数	7	7	12	6	3	3	5	4

神奈川県周産期医療体制整備計画等により横浜市内のNICUは充足している。また、総合周産期母子医療センター（基幹病院）のNICU増床もあり、基幹病院で受入困難な新生児搬送は減少している。基幹病院のNICUに余裕があるため基幹病院から中核病院へのバックトランスファーも減少していると考えられる。平成 29 年度にNICU加算 2 の要件を満たせず同算を取り下げたことにより看護体制が手薄になり、更に受入れが難しくなるなど悪循環となっている。

救急患者は減少しているが、地域では支援が必要な家庭は増加していると推定されている。不適切な療育が疑われる受診には、医療社会事業課を通じ、在住区への情報提供を行っている。

2 課題

予防接種の普及、少子化による小児急性期疾患患者の減少は今後も続くことが予想される。小児科における 24 時間、365 日の小児救急対応に必要な小児科医師数には変わりはないが、患者数の減少による収益減少への対応が課題である。また、当院だけでなく広域な小児救急医療体制の再考が必要になってくる。

2-3 周産期救急医療

1 データ

周産期救急医療は主に母体搬送や新生児搬送であるが、妊娠中の卵巣嚢腫茎捻転、虫垂炎、頭蓋内疾患、感染性疾患もときにある。また、未受診妊婦のいわゆる飛び込み分娩、自宅分娩なども含まれる。更に精神疾患、身体疾患合併妊婦の妊娠中期以降、必要時からの受入れも病病連携または病診連携として行っており、これは広義の周産期救急に当てはまる。

当院の周産期担当（産婦人科、小児科）は「横浜市民が安心して分娩できる環境を整えることで、地域の周産期医療に貢献する」という目標を掲げ、診療にあたっている。

平成 24 年 7 月 25 日付で当院は地域周産期母子医療センターに指定され、産科と小児科（NICU）の協力のもと、他の産科施設からの母体搬送の受入れを中心として、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設として横浜市の周産期医療の一翼を担っている。

なお、母体搬送受入れの基準は妊娠 34 週以降、推定体重 1,500g 以上としている。

<母体搬送受入れ数>

2018 年度 11 件

2019 年度 3 件

2020 年度 5 件

2021 年度 13 件

<母体搬送数>

2018 年度 19 件

2019 年度 7 件

2020 年度 9 件

2021 年度 6 件

<分娩総数>

2018 年度 785 件

2019 年度 653 件

2020 年度 491 件

2021 年度 566 件

	救急患者数	救急車受入	入院患者数
2018 年度	743	95	511
2019 年度	644	78	405
2020 年度	500	65	353
2021 年度	563	81	348

2 成果

分娩総数は減少傾向であるが、下げ止まりつつある。

産科は24時間365日の体制で当直・オンコール体制を組み、緊急手術もいつでも対応できる体制をとっている。これには、産科、小児科のみならず、救急外来、手術室、麻酔科、他科も協力の上で成り立っていることである。

「横浜市民が安心して分娩できる環境を整えることで、地域の周産期医療に貢献する」という、事業目標はおおむね達成していると考えている。

3 課題

ハイリスク妊娠の対応が当院の重要な役割であるので、より充実した体制を作っていきたい。

また、無痛分娩、助産師外来などはすでに施行しているが、地域連携を強化するなど更に充実させることにより周産期医療の質の向上、満足度の向上を図りたい。

2-4 精神科救急医療

1 データ

令和3年度実績

	受入れ数		入院形態			転帰		
	受診数	入院数	措置	医保	任意	転院	退院	その他
3次救急	27	24	23	1	0	18	6	0
2次救急	6	4	—	4	0	2	2	0

精神科救急受診数の推移（年度別）

	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
3次救急	44	26	31	34	37	32	24	29	27
2次救急	9	13	13	14	11	8	7	8	6

2 成果

- ・実施要項に準じて人員を配置し、精神科救急医療を滞りなく行えた。
- ・政策医療とは別に、自殺企図例などで救急病棟より精神科病棟に入院する例も多い。

3 課題

- ・精神科救急医療を掲げているが、実際は身体合併症がある精神科救急患者が選択的に送られてくる問題がある。また、そのような身体合併症があるケースの後方転送が滞る状況が依然続いている。
- ・基幹病院は待機拘束時間が多い割に受入れ患者数は少なくシステムの効率が悪い。救急システムの在り方について各基幹病院、後方病院、行政を交えて意見交換をし、改正していく時期に来ているが動きはない。
- ・救急部を受診したが身体的な問題はなく、精神症状のみ入院適応がある患者がいる。当院の精神科病棟が満床の場合に、受入れ先の調整に苦慮することがある。
- ・精神保健福祉法、特に23条通報に関する警察の理解が乏しく自傷他害のおそれが高くても通報がされず現場での対応に困る事があるため基幹病院、行政、警察の定期的な意見交換が必要である。

2-5 精神科身体合併症医療

1 データ

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
身体合併症事業計		90	83	85
当院受入れ数		75	64	66
入院数		52	41	50
平均在院日数		27.0	18.3	24.4
転帰	依頼元病院	48	35	41
	他病院	0	3	2
	退院	3	2	1
	入院中	0	0	1
	死亡	1	1	5

2 成果

- ・平成20年度以降、当院の年間の受入れ数は身体合併症転院事業の7～8割にあたるが、令和3年度は事業総数の8割以上を受け入れることができた。
- ・この他、時間外に行政を介さずに受け入れた症例もある。

3 課題

- ・引き続き、身体科医師の協力体制のもとで同事業を円滑に進める。
- ・保護室が必要な症例に関して精神科救急ベッドの空床状況によっては受入れが困難になる場合がある。

2-6 緩和ケア医療

1 データ

(1) 緩和ケアチーム実績

		令和元年度	令和2年度	令和3年度
緩和ケアチームへの依頼数	新規	137件	128件	141件
	継続	9件	9件	3件
	延べ件数	2,111件	1,984件	2,166件

緩和ケアチームへの依頼内容

疼痛・嘔気・呼吸困難などの身体ケア 97%

せん妄・抑うつ・不眠などの精神的ケア 3%

(2) 緩和ケア専門外来実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
初診	15件	10件	9件
再診	72件	83件	83件
延べ件数	87件	91件	92件

緩和ケア専門外来への依頼内容

疼痛 100%

(3) 苦痛のスクリーニング実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
病棟	393件	427件	484件
外来	933件	827件	865件
合計	1,326件	1,254件	1,349件

2 成果

- ・緩和ケアリンクナース会を中心に、苦痛のスクリーニングを全てのがん患者を対象に実施する体制を整備し、専門的緩和ケアを必要とする患者に対して早急に緩和ケアを提供した。
- ・入院中の患者への緩和ケアについて、多職種でのカンファレンスを行い、多職種で多角的な専門的な支援を行った。
- ・外来化学療法室、放射線治療室と緩和ケアチームが情報を共有し、治療に応

じた緩和ケアを提供できる体制を整備した。

- ・緩和ケアの知識・技術の習得・向上のため、緩和ケア研修会を令和3年12月に開催した。
- ・院内・地域の緩和ケアの啓発・普及のため、緩和ケア講演会を令和3年12月と令和4年1月に開催した。

3 課題

- ・緩和ケアリンクナースの活動を通し、病院全体で質の高い基本的緩和ケアの提供を目指すとともに、専門的緩和ケアの必要な対象の早期抽出に努める。
- ・緩和ケアチームの介入を通して病院全体での苦痛の発掘、症状コントロールへの早期の対応を通して、患者のQOLの改善を目指す。
- ・患者の入退院での情報交換を増やすなどして、連携する地域の医療機関の拡大と緊密化を図り、患者への切れ目のない医療の提供を目指す。
- ・COVID-19の影響により、神奈川県がん診療連携協議会の緩和ケア部会を中心とした他院との交流やピアレビューの機会が減少しており、交流を再開・継続できる体制の整備が必要である。
- ・神奈川県がん診療連携協議会緩和ケア部会での他の病院との連携を深めつつ、院内での専門的緩和ケアへのアクセスの改善を目指す。
- ・研修会、講演会、勉強会等の開催を通し、緩和ケアの啓発、普及に引き続き貢献する。
- ・令和3年1月から新型コロナウイルス感染症対応を優先するため、緩和ケア病棟の25床を休床し、7A病棟にて緩和ケアの入院対応を実施している。今後の対応については、新型コロナウイルス感染症の状況をみながら緩和ケア病棟の再開に向けて、検討していく。

2-7 アレルギー疾患医療

1 データ（平成30年度～令和3年度比較）

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
外来アレルギー患者数 (延べ数)	22,458人	23,684人	21,600人	20,128人
呼気一酸化窒素測定	3,813件	3,292件	1,958件	1,530件
気道過敏性試験	37件	55件	0件*	0件
プリックテスト	156件	173件	215件	152件
エピペン処方数	326件	302件	547件	528件
喘息カンファレンス	6回	6回	0回#	0回
食物・薬物アレルギー カンファレンス	5回	5回	0回#	2回
食物アレルギー研修	35回	62回	21回	63回
講演会	3回	1回	1回	1回
みなとセミナー	1回	1回	1回	1回
市民フォーラム	2回	1回	0回	1回
患者教室	11回	10回	0回	8回
小児喘息キャンプ	1回	1回	0回	0回
誌上発表	34件	23件	23件	14件
学会発表	54件	42件	29件	27件
新薬開発治験	14件	10件	8件	5件
自主臨床試験	11件	7件	7件	1件

* # ともに新型コロナウイルス感染予防のため中止

2 成果

市民への相談・情報提供、啓発活動については、前年度より増加傾向となった。保育所や学校等の職員に対する食物アレルギー指導研修業務の拡大のために、アレルギー専門小児科医師4名の協力を確保し、依頼元からの要望に柔軟に対応した。

臨床研究については、継続中のARMS研究（遠隔医療）とEARTH研究（環境アレルギー）の組み合わせによる「個別喘息予報」を平成28年度より配信開始し、患者の個別データをさらに活用できるよう取組を進めている。地域医療連携についても舌下免疫療法を目的とした病診連携会による連携を継続中である。

平成30年10月に選定された神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院として、神奈川県のアレルギー疾患政策医療的医療にも貢献している。

3 課題

日本専門医機構の指導により開始予定の新専門医制度下、アレルギーセンターがアレルギー専門医研修基幹施設に認定されるべく、引き続きアレルギー科、呼吸器内科、皮膚科、耳鼻咽喉科、リウマチ内科のアレルギー専門医・指導医、リウマチ専門医・指導医の確保と育成に努める必要がある。

2-8 障害児者合併症医療

1 データ

	H30 年度	R 元年度	R 2 年度	R 3 年度
入院患者延べ人数	158 名	158 名	51 名	37 名
入院患者実人数	10 名	10 名	4 名	4 名
1 患者あたり 入院回数	1～8 回	1～8 回	1～4 回	1～4 回
年 齢	2～28 歳	2～28 歳	6～29 歳	7～30 歳
メディカルショー トステイ利用者数	19 名	19 名	3 名	5 名
障害児者委員会	年 3 回 開催	年 3 回 開催	年 3 回 開催	年 2 回 開催

2 成果

当院において行われる障害児者への医療提供が円滑に行われることを目的とし、障害児者医療検討委員会を開催し、その内容を検討した。

また、重度心身障害児者の理解を深めるため、障害児者医療検討委員会の発信で、メディカルショートステイについてのポスターを作成し、広報活動を行った。

3 現状と課題

障害児者医療への職員の研修啓発に努めるとともに、地域の障害児者医療を担う医療機関との連携を図りながら、横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムの協力病院として対象患者の受入れを継続する。

2-9 災害時医療

1 救護活動等の状況

(1) 医療救護班の派遣状況

①横浜市災害医療アドバイザー

横浜市新型コロナウイルス対策医療調整本部（Y-CERT）へ横浜市災害医療アドバイザー1名を随時派遣。

②横浜救急医療チーム（YMA T）の出動状況

横浜市内の救急・事故事案等に5件出動

(2) 災害救護に関する訓練・研修会等への実施・参加状況

開催日	訓練・研修会	会場	参加者
5/11(火)	神奈川県災害通信訓練及び院内通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	医療社会事業課1名、医療連携課1名
5/21(金)~23(日)	NBC災害・テロ対策研修	筑波大学付属病院・筑波メディカルセンター病院	救急部医師1名、看護部2名、調度課1名、施設課1名
6/16(水)	赤十字救護班主事研修会BASIC	日本赤十字社神奈川県支部	薬剤部2名、検査部1名、放射線科1名、リハビリテーション科1名、医療社会事業課1名、医療連携課1名、外来業務課2名、入院業務課3名、人材開発課1名、医療情報課1名、施設課1名、調度課1名 スタッフ参加:救急災害業務課2名
6/26(土)~27(日)	救護員としての赤十字看護師研修	横浜市立みなと赤十字病院	看護部23名
7/10(土)~11(日)	救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修	横浜市立みなと赤十字病院	看護部14名
7/12(月)	神奈川県災害通信訓練及び院内通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	医療社会事業課2名、医療連携課1名、人材開発課2名、外来業務課1名
7/19(月)	救護活動用車両運転技術研修会	伊勢原自動車学校	検査部1名、医療社会事業課1名、人材開発課2名、医療情報課1名、経営企画課1名、施設課1名
7/29(木)	神奈川県原子力災害医療基礎研修	オンライン開催	看護部1名、施設課1名、入院業務課1名
8/13(金)	神奈川県災害通信訓練及び院内通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	会計課1名、施設課1名、入院業務課4名
9/13(月)	神奈川県災害通信訓練及び院内通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	人材開発課2名、外来業務課1名
10/11(月)	神奈川県災害通信訓練及び院内通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	医療社会事業課2名、会計課1名、施設課2名、入院業務課1名
10/23(土)~24(日)	救護員としての赤十字看護師研修	横浜市立みなと赤十字病院	看護部24名
11/11(木)	神奈川県災害通信訓練及び院内通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	医療社会事業課2名、人材開発課2名、調度課1名、外来業務課1名
11/16(土)	(みなと主催)こころのケア研修	横浜市立みなと赤十字病院	看護部7名
12/4(土)	新型コロナウイルス感染症医療従事者養成研修	横浜市立大学付属病院シミュレーションセンター	集中治療部医師2名、看護部1名、臨床工学部1名
12/11(土)~12(日)	かながわDPAT研修	1日目:オンライン開催、2日目:神奈川県民ホール	精神科部医師1名、看護部1名、救急災害業務課1名
12/13(月)	神奈川県災害通信訓練及び院内通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	感染管理室1名、医療社会事業課2名、入院業務課2名、施設課1名
1/11(火)	神奈川県災害通信訓練及び院内通信訓練	横浜市立みなと赤十字病院	医療社会事業課1名、総務課1名、調度課1名
2/15(火)	(支部主催)こころのケア研修支部主催	日本赤十字社神奈川県支部	看護部9名
3/13(日)	日赤災害医療コーディネーターフォローアップ研修会	オンライン開催	救急部長1名、看護部1名、救急災害業務課1名

(3) 救護体制及び主要資機材

①医療救護班

- ・ 救護班 7 班 (医師 7 名、看護師 21 名、薬剤師 7 名、主事 14 名)
- ・ 日本DMAT 2 チーム^{注1} (医師 2 名、看護師 6 名、業務調整員 3 名)
- ・ 神奈川DMAT-L 3 チーム^{注2} (医師 3 名、看護師 4 名、業務調整員 7 名)
- ・ かながわDPAT (神奈川県災害派遣精神医療チーム) 隊員 10 名 (医師 1 名、看護師 5 名、業務調整員 4 名)
- ・ YMAT (横浜救急医療チーム) 隊員 21 名 (医師 9 名、看護師 12 名)

※注 1 : 日本DMATのチーム数は、日本DMAT活動要領の「DMAT 1 隊の構成は、医師 1 名、看護師 2 名、業務調整員 1 名の 4 名」に基づき、同時に編成が可能なチーム数。

※注 2 : 神奈川DMAT-Lのチーム数は、神奈川DMAT-L運営要綱の「医師、看護師、業務調整員からなる 1 チーム 5 人編成を基本とする。」に基づき、各職種最低 1 名以上で同時に編成が可能なチーム数。

②救護資機材等

救急車 2 台、医師派遣用緊急車両 3 台、救護班用医療セット 1 式、DMAT 標準医療資機材 1 式、YMAT資機材 1 式、日赤業務無線機等 22 台、神奈川県MCA無線 1 台、横浜市MCA無線 1 台、衛星電話 1 台 (庁舎設置)、衛星携帯電話 2 台、(可搬型 1 台、救急車積載 1 台)、デジタル個人線量計 28 台、簡易ベッド 540 台、NBC災害除染セット 1 式、ドラッシュテント 1 式、エアータント 1 式、イージーアップテント 5 式、発動発電機 7 台、大容量ポータブル蓄電池 1 台、災害用マンホールトイレ 2 基、下水直結型災害用トイレ 5 基、患者用非常食 3 日分、職員用非常食 3 日分

2 成果

- ・ 令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症対策として、多くの災害対応訓練や研修会が中止となったが、感染症対策に留意しながら、救護班主事研修会 BASIC など複数の研修会を再開することができた。
- ・ 日本DMAT、神奈川DMAT-L、YMATは隊員養成研修が中止となったため、隊員数を増やすことができなかった。

3 課題

災害時に関係機関が連携して活動するためには、日頃から顔の見える関係を築いておくことが重要と言われている。

当院でも関係機関との訓練、研修、会議等を通じ、日頃から地域の関係者と顔の見える関係を構築し、災害時には災害拠点病院としての機能を発揮して地域の災害医療の貢献できるよう取り組んできた。

新型コロナウイルス感染症対策で訓練、研修会の中止が多くなるが、如何にその技能等を維持していくか、また、オンラインでは習得が困難である内容について、参集型の訓練や研修会をどのような感染防止対策を施しどのような内容とするか関係機関と共に検討して実施したい。

2-10 市民の健康危機への対応

1 データ・成果

(1) 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）対応

横浜市立病院として高度医療機関、協力病院の指定のもと、市中発症の新型コロナウイルス感染症の患者対応を行った。

また、横浜市より依頼を受け帰国者・接触者外来を継続した。

入院患者の受入れにあたっては、重症患者、中等症患者の入院受け入れを行い、市内の流行状況に合わせて最大ICU・HCUで12床、呼吸器病棟（6B病棟）で20床（疑似症含め49床）の対応病床を用意した。また周産期（5C病棟）病床を1床確保し受け入れを行った。

院内のCOVID-19によるクラスター発生にも対応した。

(2) 新型コロナウイルスワクチン接種

・新型コロナウイルスワクチン接種を職員へ実施した。

1回目接種率 90%

2回目接種率 90%

3回目接種率 89%

・新型コロナウイルスワクチンの職域接種も実施した。

(3) 新型インフルエンザ等対策等

抗インフルエンザ薬について、院内での抗インフルエンザ薬使用状況を考慮し、薬剤ごとの備蓄割合（薬局備蓄含む）を再検討した。

2 課題

新型コロナウイルス感染症対応は、神奈川県対策本部からの指示に基づき、流行状況を加味したフェーズに応じて、病床数を変化させて患者を受け入れており、疑似症としてどこまで対応すべきか常に課題になっている。

新型インフルエンザ等対策訓練等については、横浜市新型インフルエンザ等対策医療関係者連絡協議会等と連携して、必要に応じて資器材・抗インフルエンザ薬の整備・備蓄を進める。

3 指定管理者独自の取組

3-1 新型コロナウイルス感染症への対応

1 データ

令和3年度の新型コロナウイルス感染症関連の入院患者は、累計で479人（陽性388人、疑い91人）（令和3年4月1日～令和4年3月31日）だった。

ICU・HCU病棟で重症患者、呼吸器内科病棟等で中等症患者を主に受け入れており、神奈川県病床確保フェーズに合わせて確保病床数を変更した。

医師については、感染症専門医のフォローを受けながら、救急部、集中治療部、呼吸器内科等の医師が診療を行った。

看護師については、感染管理認定看護師2名のフォローを受けながら、6B病棟、ICU病棟等の看護師が対応にあたった。

また、コロナ禍であっても、『重症度に関わらず救急患者を受け入れる「断らない救急」を実践し、地域医療に貢献する』を理念に掲げ、新型コロナウイルス感染症の対応と並行して、通常の救急患者の受入についても積極的に行った。

令和3年度は12,076台の救急車を受入れ、新型コロナウイルス感染症の感染者数が増加した第5・6波の際も、新型コロナウイルス感染症関連患者の救急受入れを積極的に行った。

新型コロナウイルス感染症の感染が拡大した状況でも、より多くの救急患者を適切に受入れることができるよう、救急外来のスペースの拡充や感染症に対応した診察室の増設の検討を行った。（令和4年度中に着工予定）

	重症			中等症			合計		
	陽性	陰性	合計	陽性	陰性	合計	陽性	陰性	合計
令和3年4月	2	2	4	8	11	19	10	13	23
5月	10	0	10	23	3	26	33	3	36
6月	10	1	11	10	8	18	20	9	29
7月	12	0	12	35	6	41	47	6	53
8月	25	3	28	57	9	66	82	12	94
9月	14	0	14	32	2	34	46	2	48
10月	0	0	0	1	2	3	1	2	3
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12月	0	2	2	0	3	3	0	5	5
令和4年1月	4	6	10	16	13	29	20	19	39
2月	19	1	20	60	10	70	79	11	90
3月	8	1	9	42	8	50	50	9	59
合計	104	16	120	284	75	359	388	91	479
							※陰性は疑いも含む		

【新型コロナウイルス感染症第6波での救急車応需状況】

	令和3年 12月	令和4年 1月	令和4年 2月	令和4年 3月	合計
ホットライン要請件数	1,017	1,431	1,604	1,360	5,412
応需件数	992	1,296	1,243	1,238	4,769
不応需件数	25	135	361	122	643
一般救急	25	69	59	84	237
COVID-19 関連	0	66	302	38	406
不応需率	2.4%	9.4%	22.5%	8.9%	11.8%
一般救急	2.4%	4.8%	3.7%	6.1%	4.3%
COVID-19 関連	0.0%	4.6%	18.8%	2.8%	7.5%

2 成果

24 時間 365 日の救命救急センターを充実し、年間 1 万台以上の救急車を受け入れる救急体制を精神科・小児科救急と合わせて運営します。

また、新型コロナウイルス感染症の重症・中等症患者の診療に引き続き対応し、横浜市の医療調整本部（Y-CERT）へ医師を派遣するほか、横浜の都市型激甚災害や国内的・国際的救護支援活動に備えます。

3 課題

新型コロナウイルス感染症への対応の中で明らかになった、エリアの分けや動線分離などの感染管理上の課題を踏まえ、今後の新興・再興感染症対応に向け、救急外来エリアの拡充等を実施します。

また、職員の二次感染防止やクラスター防止の各マニュアルの順守、通常 of 患者を可能な限り断らないで受け入れるための病床の確保と調整について継続して実施します。

3-2 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会

1 経緯

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会から東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会時の大会関係者受入れについて依頼があり、競技の期間中について、大会関係者が医療機関での受診が必要となった場合の受入れを行った。

また、横浜市市民局から事前キャンプ地として、医療の提供を行った。

(1) 依頼内容

大会関係者に対する救急医療、外傷医療の提供

(2) 受入れの協力期間

2021 年 7 月 7 日から 2021 年 8 月 11 日まで

(3) 受入対象

東京 2020 大会のアクレディテーションを有する大会関係者

(4) 費用負担

大会関係者に係る病院側に支払うべき医療費は、組織委員会又は大会関係者本人が負担する。未収金が発生し、合理的な回収努力がなされたにもかかわらず回収できない場合、組織委員会が支払う

2 データ

受診対応 2 名 (3 件)

3 実施・成果

- (1) 各部署受け入れ体制や診療に関する文書の多言語化の見直しを行った。
- (2) アンチドーピングに関する受け入れ体制整備と院内周知を実施した。
- (3) 通訳タブレット利用方法の研修会開催と運用の院内周知を行った。

4 課題

職員に対し、外国人対応に対するシステムの周知ができた一方、新型コロナウイルス感染症対応の中、受け入れ体制を整備することは、職員に対する大きな負担となった。

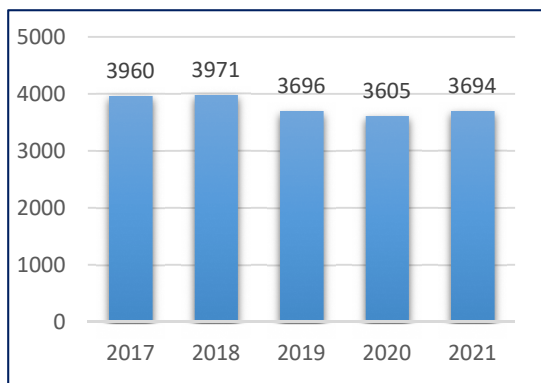
4 地域医療の質の 向上に向けた取組

4-1 医療における安全管理（安全）

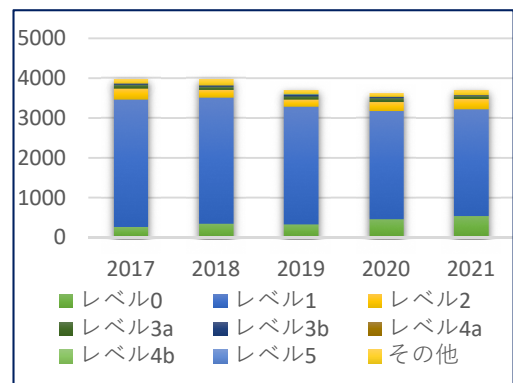
1 データ

- ・令和3年度インシデントレポート報告件数は3,694件。
- ・令和3年度全職員対象安全研修会は、第1回は電子カルテにより、9月から12月にかけて、第2回は職種別にe-learningにより、1月から3月にかけて開催した。参加率は、それぞれ92%と87%。
- ・医療職対象医薬品医療機器安全講演会を2月に電子カルテを使用して資料を周知した。
- ・RM対象の安全研修会を全8回開催した。
- ・医療安全管理委員会とRM委員会は、毎月開催した。
- ・RM委員会の中で、医療機器安全管理者や薬剤師によるミニレクチャーを適宜開催した。
- ・院外の安全ニュースを院内発生に関連事例と絡めて委員会で共有した。

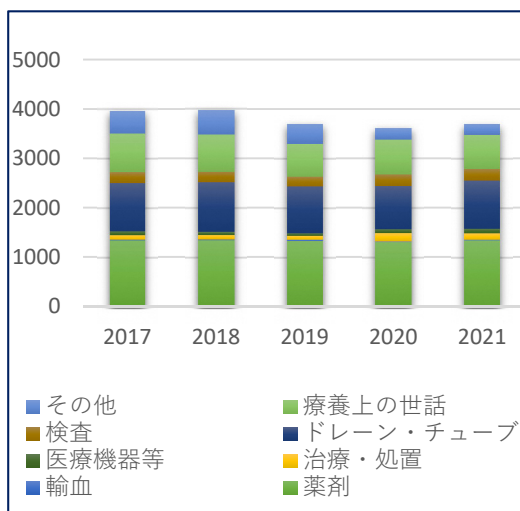
■ 年度別総報告数



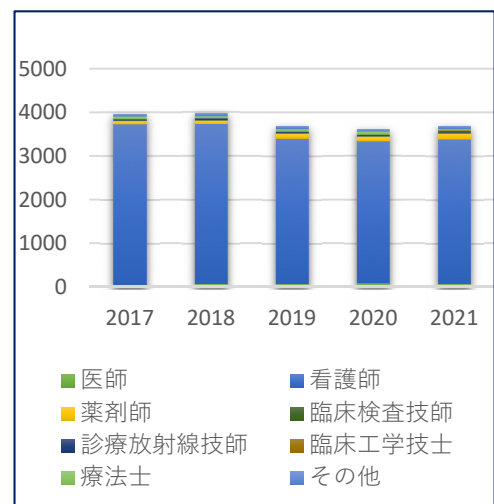
■ レベル別報告



■ 項目別報告数



■ 職種別報告



・内視鏡検査・治療について

- (1) 令和3年度の重症症例についての報告件数は0件であった。
重症症例については、内視鏡運営委員会において定期的に報告、検討されている。
- (2) 令和3年度研修実績
12月に急変時対応トレーニングを開催した。

2 成果

- (1) 年間報告件数が前年度と比較し増加した。
- (2) 職員への教育計画を予定通り実施した。
- (3) 安全管理マニュアルを令和4年3月に改訂した。
- (4) 与薬・転倒転落に関する定期調査を実施した。
- (5) 令和3年8月 市立3病院医療安全報告会は、感染対策上メール審議とし、安全管理の委員会の活動状況、安全管理研修等の開催状況、インシデント報告の状況等を報告し、共有した。
- (6) 多職種患者誤認対策チームの活動により、採血時の氏名確認手順業務フローを整備した。
- (7) せん妄のアセスメント・介入フローを導入し、せん妄ハイリスク加算算定にもつなぐ事が出来た。
- (8) 転倒・転落のリーフレットを改訂し、入院時配布物とした。入院前の転倒・転落に関する情報を得る事にもつながった。

3 課題

- (1) 転倒・転落対策の推進
- (2) せん妄対策の推進
- (3) 患者誤認防止活動継続
- (4) 講演会への参加率向上
- (5) ポケットマニュアルの活用

4-2 医療における安全管理（感染）

1 データ

- (1) 令和3年度研修会実績
 - ・全職員対象感染講演会を電子カルテの視聴とし、7月と3月に開催した。受講率は7月90%と3月92%。

2 成果

- (1) COVID-19の感染対策マニュアルを作成し随時更新した。
- (2) ICTによる定期的な院内ラウンドを51回実施し、問題点を現場へフィードバックした。
- (3) サーベイランスによるアウトブレイクの特定
 - ・BSIサーベイランス、UTIサーベイランス、SSIサーベイランス、MRSA検出患者サーベイランス、JANISサーベイランス検査部門継続。
 - 特定病棟での耐性菌検出時に対してはラウンド等行い接触予防策の再確認を行った。サーベイランスではアウトブレイクは特定されなかった。
- (4) 抗菌薬の適正使用
 - 令和3年度のAST介入件数は146件で、推奨提案が主治医に承認された件数は122件(約84%)、そのうち113件(約93%)は治療が奏効し、退院・転院となった。
- (5) 感染事例への具体的な対応・指示を図った。
- (6) 感染防止対策加算1に則り他施設とのカンファレンスを4回開催した。
 - 3回はWEB会議で実施し、第4回目を集合型の会議で実施した。
 - 感染対策地域連携加算の他施設との相互ラウンドについても実施し、評価については改善に向けて検討を行っている。
 - 院外への対象者に向けての感染対策の研修会を1回実施した。
- (7) 針刺し防止対策について、分注器や安全装置付きペン型注入用注射針などの安全機材の導入を行えた。

3 課題

- (1) 標準予防策・感染経路別予防策の徹底
- (2) 新型コロナウイルス感染症対策
- (3) 抗菌薬の適正使用の推進
- (4) 針刺し防止：安全機能付き器具の適正使用推進
- (5) 地域連携への取組
- (6) 流行性ウイルス疾患抗体価が基準に満たない職員のワクチン接種の推奨
- (7) サーベイランスによるアウトブレイクの特定

4-3 医療倫理に基づく医療の提供

1 データ

令和元年度・令和2年度 医療倫理委員会実績

	令和元年度	令和2年度
承認件数	64件	89件
開催回数 開催日等 (参加人数)	第1回 5月27日～6月4日(文書) 第2回 7月12日(10人) 第3回 9月13日(8人) 第4回 11月8日(9人) 第5回 1月20日(9人)	第1回 6月30日～7月10日 第2回 8月28日～9月8日 第3回 10月30日～11月11日 第4回 12月28日～1月15日 第5回 2月25日～3月11日 ※全て文書審議にて開催

令和3年度医療倫理委員会実績 承認件数 61件

開催日(参加人数)	NO	議題	結果
第1回医療倫理委員会 4月30日～5月14日 (文書審議)	1	フィブリノゲンHT 静注用1gの使用について	承認
	2	房室結節リエントリー性頻拍に対する冷凍アブレーションと高周波アブレーションの房室伝導障害の検討	承認
	3	大弯にかかる上部進行胃癌に対するNo.10リンパ節予防的郭清のための脾臓合併切除の意義を検証する後向き観察研究	承認
	4	新型コロナウイルス感染症の病態理解と治療法検討のための多施設共同研究	承認
	5	大腸憩室出血患者における再出血に寄与する因子の検討	承認
	6	肝細胞癌患者におけるレンバチニブ長期内服に寄与する因子の検討	承認
	7	高アンモニア血症に対するカルニチン補充療法の検討	承認
	8	単一遺伝子異常による糖尿病の成因、診断、治療に関する調査研究	承認
	9	初発脆弱性骨折患者の転倒予防に向けたリスク因子に関する健診コホート研究	承認
	10	SPLEEN VOLUME AND MORTALITY IN PNEUMOCOCCAL SEPSIS	承認

	11	Cryo AF グローバルレジストリ研究 (変更)	承認
	12	A prospective cohort study to assess obstructive respiratory disease phenotypes and endotypes in Japan (the TRAIT study). 日本における閉塞性肺疾患のフェノタイプ及びエンドタイプを評価することを目的とした前向きコホート研究 (the TRAIT study) (変更)	承認
	13	日本集中治療医学会主催の ICU 入室患者登録システム事業への参画 (変更)	承認
	14	クライオバルーンによる心房細動アブレーションの有効性および安全性の検討 (変更)	承認
第2回医療倫理委員会 6月11日～6月23日 (文書審議)	15	ケタラール静注用 50mg の使用について	承認
	16	「口腔粘膜ケアにおける操作性を考慮した口腔保湿剤の特性に関する研究」	承認
	17	当院における CT ガイド下肺生検施行肺癌症例の検討	承認
	18	日本整形外科学会症例レジストリー (JOANR) 構築に関する研究 (変更)	承認
第3回医療倫理委員会 8月20日～8月31日 (文書審議)	19	内視鏡下甲状腺手術 (Video-Assisted Neck Surgery: VANS 法)	承認
	20	アブレーション直前に心嚢水の有無を確認することの有効性	承認
	21	皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築と AI 活用診療支援システムの開発	承認
	22	日本人における新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) に関する重症化因子の探索 一多施設共同後ろ向き観察研究一	承認
	23	高齢者における破裂脳動脈瘤急性期治療に関する検討	承認
	24	直腸癌における術前 MRI 画像診断に関する多施設共同後ろ向き・前向き観察研究	承認
	25	閉塞性大腸癌に対する治療成績に関する多施設共同後ろ向き観察研究	承認
	26	心臓植え込み装置のリード抜去症例の実態調査	承認
	27	通電後 QRS 波形変化を認めるヒス束近傍特発性心室性不整脈に対する解剖学的アプローチの有効性	承認
	28	がん化学療法における VEGF 阻害薬と抗凝固薬併用に	承認

		よる出血リスク因子についての探索的観察研究	
	29	がん患者における VEGF 阻害薬と抗凝固薬併用における安全性上部消化管出血に対する PPI・H2 受容体拮抗薬の予防効果	承認
	30	心臓大血管手術術後サクビトリルバルサルタン投与による治療経過の検討	承認
	31	経皮的左心耳閉鎖システムを用いた非弁膜症性心房細動患者の塞栓予防の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究—J-LAAO—	承認
	32	Cryo AF グローバルレジストリー研究 (変更)	承認
	33	EFAT-2 の日本語版作成と信頼性及び妥当性についての検討 (変更)	承認
	34	パーキンソン病患者における健康関連 QOL とアパシーおよび作業機能障害の関連 (変更)	承認
	35	救急医療機関におけるアナフィラキシー患者の実態調査 (変更)	承認
	36	初発脆弱性骨折患者の転倒予防に向けたリスク因子に関する健診コホート研究 (変更)	承認
	37	COVID-19 肺炎後の肺機能低下に関わる因子の検討 (変更)	承認
	38	間質性肺炎患者における経過の解析と疾患関連遺伝子の探索 (変更)	承認
第4回医療倫理委員会 10月1日～ 10月15日 (文書審議)	39	大腿静脈アプローチでカテーテル治療を受ける患者	承認
	40	アクテムラ点滴静注用の使用について	承認
	41	ST 上昇型急性心筋梗塞に対するエキシマレーザーアテレクトミーの有用性を検討する多施設後向き登録研究	承認
	42	2021 年に外科治療を施行された肺癌症例のデータベース研究	承認
	43	Cryo AF グローバルレジストリー研究 (有害事象に関する報告)	承認
第5回医療倫理委員会 12月3日～ 12月17日 (文書審議)	44	PFC-FD (Platelet-derived Factor concentrate Freeze Dry)	承認
	45	白色白内障に対するトリパンプルー前囊染色の使用について	承認
	46	リツキシマブ注 10mg/mL の使用について	承認
	47	炎症性・腫瘍性疾患における遺伝子と炎症との関連研究	承認

	48	病棟看護師との連携強化に向けアンケートを用いた 4 年間の取り組み	承認
	49	持続性心房細動に対する高周波カテーテルアブレーションとクライオバルーンカテーテルアブレーションの有効性・安全性を評価する多施設比較臨床試験	承認
	50	横浜市内幼稚園・保育園における食物アレルギー児への対応の実態の変化についてのアンケート調査	承認
	51	重心動揺計の新しいパワースペクトル解析 ー加齢によるパワーと分散制御変化についてー	承認
	52	重心動揺計の新しいパワースペクトル解析 ー代償の分散制御の評価と臨床応用ー	承認
	53	経皮的左心耳閉鎖システムを用いた非弁膜症性心房細動患者の塞栓予防の有効性と安全性に関する多施設レジストリー研究ーJ-LAAOー（変更）	承認
第6回医療倫理委員会 2月4日～2月18日 (文書審議)	54	左肺静脈共通幹を有する発作性心房細動に対するレーザーバルーンアブレーションの有効性に関する研究	承認
	55	地域連携情報共有による骨折リエゾンサービス(FLS)対象患者のデータベース構築に関する研究	承認
	56	医療用医薬品における添付文書の電子化の影響に関するアンケート調査	承認
	57	多施設後ろ向き観察研究からみた肝性脳症に対するB-RT0の有効性	承認
	58	SARS-CoV-2による肺炎に対するバリシチニブによる治療経過についての検討	承認
	59	Femoral vein occlusion or stenosis by suture-mediated vascular closure device after catheter ablation	承認
	60	子宮頸部擦過細胞診へのBD CytoRich™法の導入による効果およびその成績に関する研究	承認
	61	Cryo AF グローバルレジストリー研究（変更）	承認

2 成果

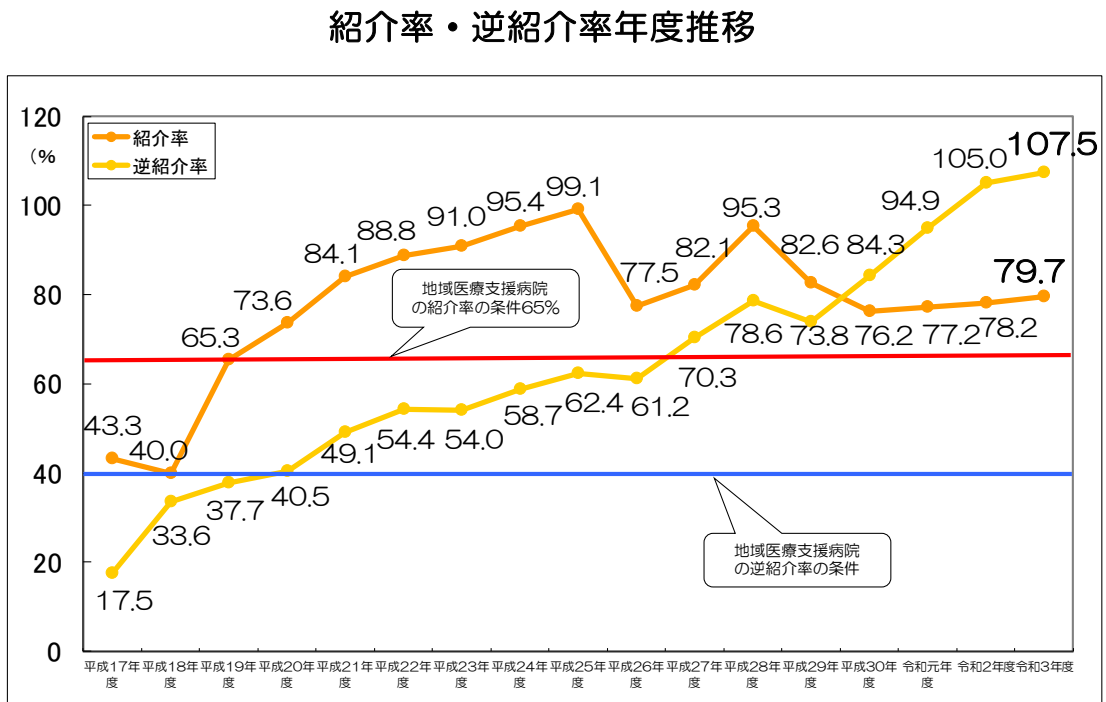
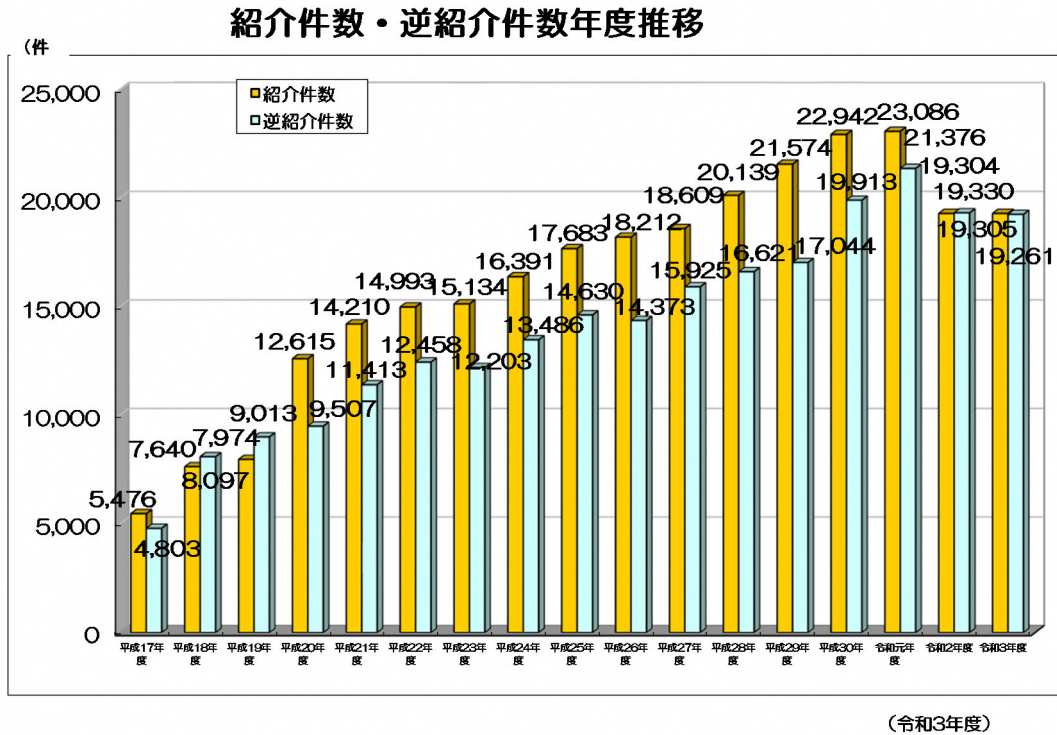
- ・全6回の開催が全てメールによる文書審議となった。
- ・例年通りに自主臨床研究審査委員会からの申請が全て報告事項であった場合、メールによる文書審議の形で開催した。
- ・臨床研究法及び院内手順に則り、実施施設にて必要な院長の承認及び報告手続きを行い、管理者に報告した。

3 課題

- ・自主臨床研究審査委員会及び臨床倫理委員会の申請書、規程等の内容を精査し更新する必要がある。
- ・患者・家族の倫理的な問題の事例の把握が不十分な点。

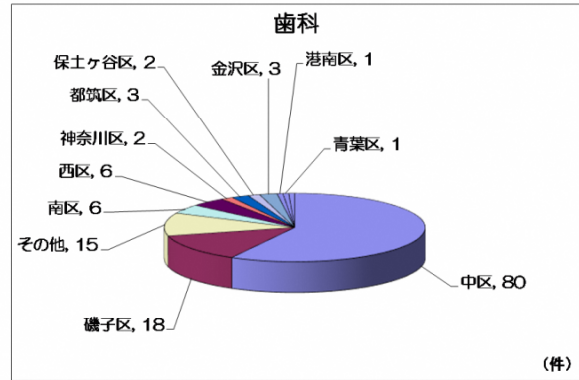
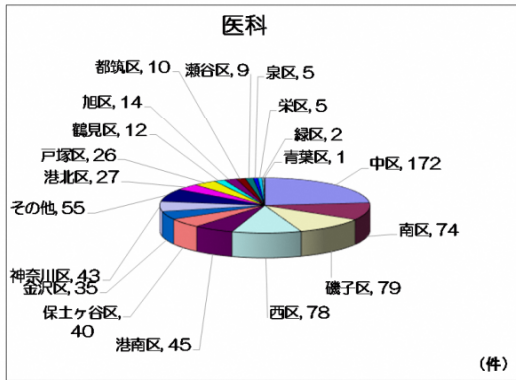
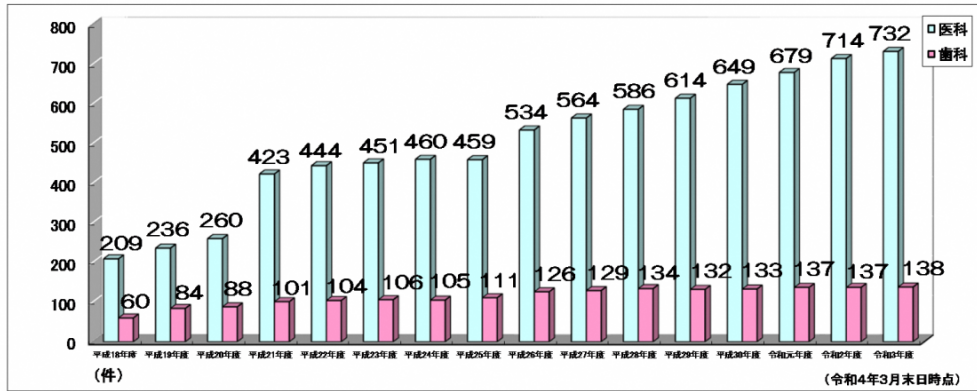
4-4 地域医療機関との連携・支援（医療連携課）

1 データ

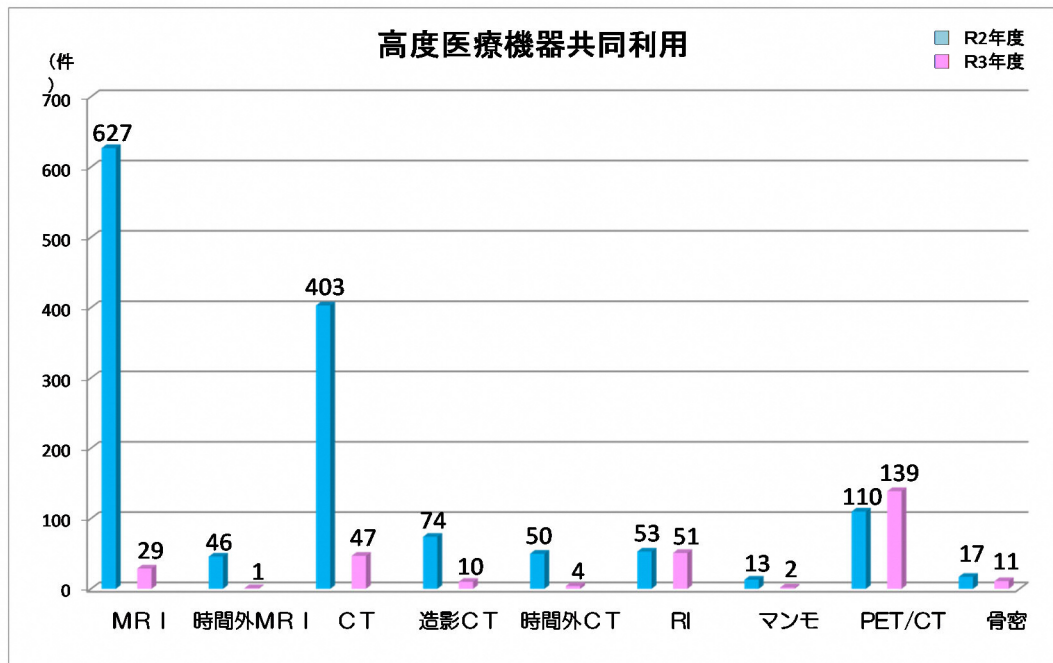


※医療法に基づく地域医療支援病院の紹介率及び逆紹介率計算
（令和3年度）

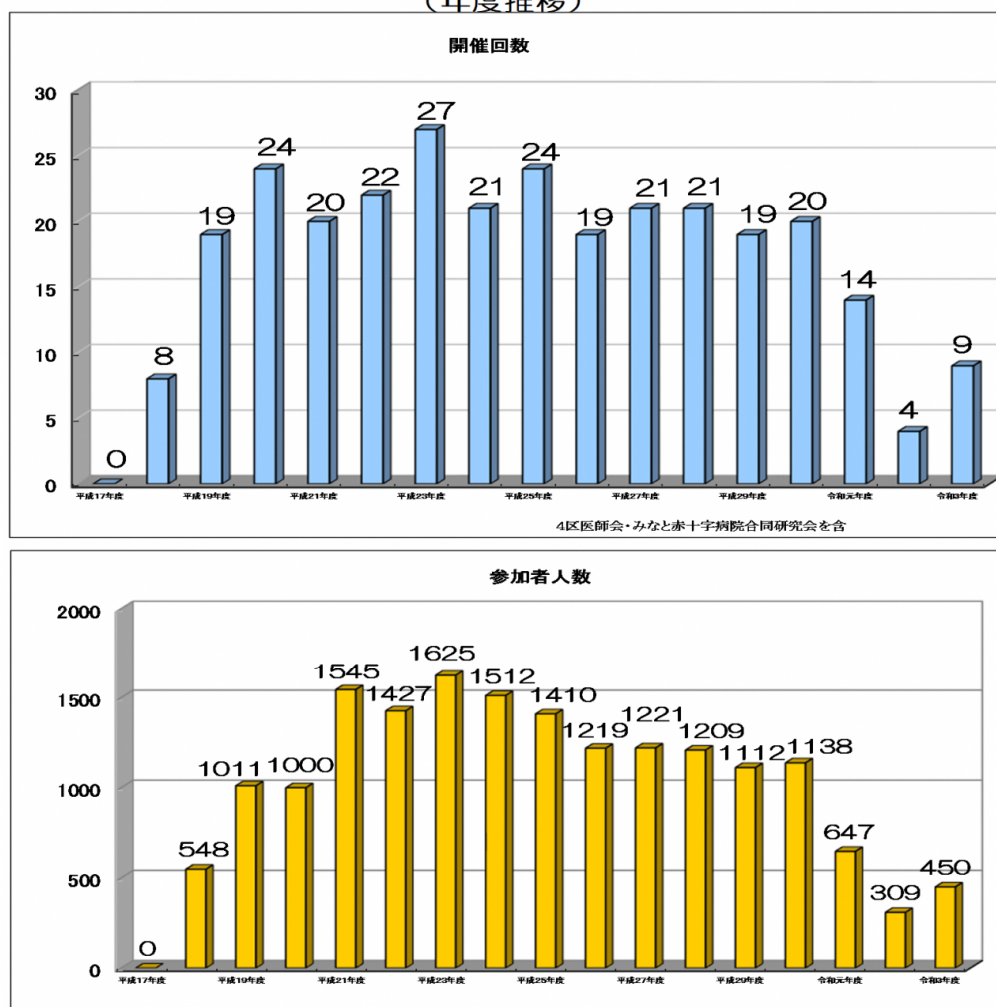
登録医登録状況



(令和3年度)



地域の医療従事者に対する研修実施状況 (年度推移)



2 成果

医療連携課では、地域医療機関の窓口として「顔の見える連携」を心がけ、地域医療機関との医療機能の分担と連携を強化し、紹介・逆紹介の向上に努めた。

新型コロナウイルスの感染が拡大を見せる中で、紹介・逆紹介の件数は昨年度と横ばいとなったものの、紹介率・逆紹介率については前年を上回り、地域医療支援病院の指定要件を達成した。

また、引き続き地域の医療従事者向けにオンラインでの研修開催に取り組み、地域医療の質向上を図った。

3 課題

新型コロナウイルスの感染拡大の波の中でも、地域からの紹介患者の受け入れおよび緊急受診要請への応需など、地域医療支援病院として地域との一層の連携強化が求められている。そのため、オンラインによるイベント開催をさらに定着させるなど、地域との顔の見える関係を保持し、地域医療の充実を進めていく必要がある。

4-5 地域医療機関との連携・支援（療養・福祉相談室）

1 データ

<相談室業務>

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談件数	8,910件	9,311件	5,682件
がん相談件数	3,631件	3,802件	2,120件

<算定件数>

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
入退院支援加算	5,790件	6,898件	7,272件
介護支援連携指導料	573件	278件	190件
退院時共同指導料2	223件	85件	91件
多機関共同指導加算	72件	19件	25件
大腿骨頸部骨折パス	37件	28件	35件
脳卒中パス	45件	40件	43件
歯科医療機関連携1	265件	163件	113件
歯科医療機関連携2		90件	65件

<地域連携会議>

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
横浜脳疾患地域連携懇話会セミナー	第1回 2月13日	開催せず	開催せず
横浜脳卒中リハ連携研究会	第1回 7月10日 第2回 12月4日	第1回 12月2日	第1回 6月23日
神奈川脳卒中広域シームレス医療研究会セミナー	第1回 1月29日	第1回 10月22日	神奈川 STROKESUMMITとして12/19Web開催
大腿骨頸部骨折地域連携パス合同委員会	第1回 7月8日	文書開催	第1回 7月5日 第2回 10月25日
誤嚥性肺炎地域連携パス合同委員会			第1回 9月14日 第2回 12月2日 第2回 3月31日

<周術期歯科口腔ケア対象患者数>

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
院内歯科	369件	340件	255件
院外歯科	265件	163件	113件

<療養・福祉相談室 主催/共催研修>

10月13日	老いる過程とその人らしい人生の過ごし方 ～よりよい在宅療養支援をめざして part 15～	主催
--------	--	----

2 成果

(1) 療養・福祉相談の実績報告（資料①）

全国赤十字ソーシャルワーカー協議会の通達で集計方法が変更したことで、相談件数とがん相談件数が令和2年度に比べ減少している。しかし、コロナ禍で入院患者数の減少はあるものの、入退院支援センターと連携し、入院時支援が充実しており、今後も引き続き支援強化に努めたい。

(2) 地域関係機関との取組（資料②）

ア 行政機関や在宅介護関係機関の会合、中区区レベル地域ケア会議、「かいごのWa！なか」の会合に参加し、在宅療養支援に関する情報交換及び情報の共有を図った。

イ 横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムでは行政を通して13件の相談があり、5件受入れを行った。

ウ 全国赤十字医療ソーシャルワーカー協議会主催の総会や研修会にオンラインで参加した。

エ 精神科医療に関する活動として、中区障がい者自立支援部議会や精神障害にも対応した地域包括ケアシステム検討会に参加し、地域との連携を図った。また、今後もさらに精神科救急医療/身体合併症システムの円滑な運用を継続したい。

オ 横浜脳卒中・リハ連携研究会（Y-CIRCLE）に参加した。

カ 横浜市歯科医師会と連携し、入退院支援センターにおいて昨年より開始している周術期口腔機能管理の定着をはかった。また、地域の歯科医が参加する退院カンファレンスの実施を強化し、在宅医科歯科連携の推進を図った。

キ みなとセミナー「老いる過程とその人らしい人生の過ごし方」を開催した。

ク 横浜市児童虐待防止医療ネットワークに毎年3回参加し、市内小児救急病棟と児童虐待防止に向けた取り組みについて情報交換を行った。

ケ 院内の多職種チーム（NST・ブレストセンター・緩和ケアチーム・腎チームなど）の活動を、地域の介護・医療関係者に紹介し、研修会などに参加した。また、認定・専門看護師の地域に向けた活動について周知し、感染・褥瘡に関しては合同会議を開催した。

コ 病棟・行政と連携しハイリスク妊産婦連携指導料算定のシステムを構築し、合同カンファレンスを6回53件開催し、算定取得につなげた。

(3) 専門職育成への取組

院外からは、2名の社会福祉学生の実習、1名の精神保健福祉学生の実習、看護学校の実習は10名、在宅看護専門看護師1名。院内は看護部からクリニカルリーダー「退院支援コース」の研修者を17名受け入れた。

(4) 専門職としての研鑽

神奈川県看護協会、医療協、神奈川県MSW協会、神奈川県PSW協会やその他自治体主催による各種研修を積極的に受講し、有資格者としての自己研鑽を図った。また、資格の専門性を生かし幅広い活動を通して業務に反映させた。

ア がん相談支援センター相談員研修の(3)を1名、受講をしている。また2名が認定がん専門相談員の資格を有し、継続学習をしている。

3 課題

- (1) 入退院支援センターと協働し、実施する支援の質向上を目指す。
- (2) 入退院支援マニュアルに沿った療養支援を病院全体で推進し、老いや病気を抱えた患者や家族に対し、包括的な支援を実施していく。また、病院と在宅チームとで退院後の患者の状態を共有する、退院支援を病院と地域で評価する仕組みを地域の関係者と共に作る退院支援体制の構築を目指していく。
- (3) 大腿骨頸部骨折地域連携パス／脳卒中地域連携パス／誤嚥性肺炎パスについて引き続き院内外の連携を深め、円滑な運用を進める。
- (5) みなとセミナー「よりよい在宅療養支援をめざして part 1 6」を実施する。
- (6) がん拠点病院に必要とされるがん相談支援センターの体制を強化していく。
- (7) 横浜市重症心身障害児者メディカルショートステイシステムの院内外との連携を進める。
- (8) 各区医師会 在宅医療連携室との連携を推進していく。
- (9) 中区地域包括ケア指針におけるアドバンスト・ケア・プランニングや緩和ケアの推進に向けた取組を医師会、歯科医師会、薬剤師会、行政、病院、地域の介護・医療関係者などと実施する。
- (10) 看護師の同行訪問や退院後訪問を推進し、地域とともに在宅療養の支援を行う。

(1)取扱人数

件数		実件数
年度実件数		5,682 件
継続実件数		163 件
新規実件数	入院	4,522 件
	外来、その他	1,160 件
年度延件数		30,673 件

精神科入院相談件数	351 件
-----------	-------

がん相談	実件数	2,120 件
	延べ件数	6,392 件
	(対面)	4,197 件
	(電話)	2,193 件
	(その他)	2 件

*算定

入退院支援加算1(600点)	7,272 件
入院時支援加算(230点)	1,539 件
介護支援連携指導料(400点)	190 件
退院時共同指導料2(400点)	91 件
多機関共同指導加算(2000点)	25 件
保険医共同指導加算(300点)	4 件
小児加算(入院時支援加算)(800点)	304 件
精神科退院指導料(320点)	72 件

*地域連携バス実施状況

大腿骨頸部骨折バス	35 件
脳卒中バス	43 件
誤嚥性肺炎バス	3 件

(2)新規ケースの紹介経路

区分	実件数
医師	733 件
看護職	3,794 件
リハビリ職	1 件
その他院内職員	45 件
本人	183 件
家族・親戚縁者	155 件
院外関係機関	765 件
医療チーム	1 件
近隣者・知人	5 件
ソーシャルワーカー	0 件
合計	5,682 件

(3)新規ケース介入の時期

区分	実件数
受診前	459 件
外来	700 件
入院前	1,645 件
入院中	2,877 件
その他	1 件

(4)新規ケースの社会的背景

区分	実件数
独居	1,276 件
経済困難	38 件
家族疎遠・身寄りなし	498 件
ハイリスク妊産婦	35 件
精神疾患	928 件
認知症	568 件
家庭内暴力・虐待	94 件
自殺企図	4 件
無保険	19 件
身元不明	21 件
ホームレス	22 件
外国人	70 件
合計	3,573 件

(5)相談援助調整内容

※当年介入ケース ※日報

内容	実件数	延件数
受診・受療	724 件	1,495 件
経済的問題	154 件	832 件
制度活用	505 件	2,070 件
入院療養生活	1,572 件	2,118 件
退院支援(在宅・転院・施設入所)	4,580 件	24,730 件
在宅療養・看護	1,915 件	4,047 件
医療者との関係	13 件	36 件
家族関係	85 件	450 件
日常生活	10 件	189 件
就労・就学	41 件	122 件
身元保証・権利擁護	91 件	351 件
死後対応	13 件	21 件
その他	21 件	114 件
合計	9,724 件	36,575 件

(6)援助方法

※日報

方法		延件数
面接	本人	7,831 件
	家族	2,825 件
	友人・知人	56 件
電話	本人	263 件
	家族	5,920 件
	友人・知人	74 件
訪問	家庭	0 件
	その他	0 件
同行・同伴・代行		0 件
連絡調整・院内		27,308 件
連絡調整・院外・面会		288 件
連絡調整・院外・電話		18,640 件
連絡調整・院外・文書・FAX・mail		4,227 件
カンファレンス(院内職種のみ)		2,671 件
カンファレンス(院外職種含む)		260 件
合同カンファレンス(院内職種のみ)		37 件
合同カンファレンス(院外職種含む)		110 件
合計		70,510 件

(7)チーム医療

腎臓内科外来カンファレンス	154 件
乳腺チーム	337 件
児童虐待防止委員会	28 件
虐待防止対策委員会	33 件
ハイリスク妊産婦カンファレンス	53 件
緩和チーム	374 件
行動制限最小化委員会	185 件
外来ケモカンファレンス	95 件
WOCカンファレンス	164 件
認知症ケアチーム	49 件

(8)転帰先

※当年退院ケース

区分	実件数
一般病院	274 件
回復期リハビリテーション病院	312 件
包括ケア	187 件
療養型病院	62 件
精神病院	117 件
介護老人保健施設	37 件
特別養護老人ホーム	93 件
有料老人ホーム	227 件
グループホーム	34 件
緩和	9 件
在宅	2837 件
死亡	164 件

※当年介入ケース

苦情	5 件
認知症疾患医療センター相談件数	103 件

①地域連携分野

内容	回数
かいごのWa! なか	7
中区在宅医療多職種事例検討会議	5
神奈川県がん診療連携協議会 相談支援部会及び研修会	3
中区在宅医療連携会議	2
大腿骨頸部骨折パス合同会議	2
横浜市児童虐待防止医療ネットワーク	2
神奈川県がん診療連携協議会相談支援部会 広報ワーキング	2
がん診療医科歯科連携検討委員会	2
磯子区地域看護連絡会	2
誤嚥性肺炎地域連携バス合同会議	2
西区中途障害者支援事業研修会・連絡会	1
中区障害者自立支援部議会代表者会議	1
精神障害にも対応した地域包括ケアシステム説明会	1
西区多職種間連携会議(地域ケア懇談会)	1
西区高齢者虐待防止事業連絡会に係る意見交換・個別ヒアリング	1
メデイカルジョーステイ調整委員・実務者委員会合同会議	1
中なかいいネ!	1
横浜脳卒中・リハ連携研究会(Y-CIRCLE)	1
中区要保護児童対策連絡会	1
中区ACP普及啓発プロジェクトチーム会議	1
障害者施設 オンライン見学会	1
県内認知症患者医療センター連絡会議	1
養子縁組民間あっせん期間助成事業連絡会議	1
認知症患者医療センターみなのセミナー	1

②研修・勉強会

内容	回数
メンタルヘルス研修	2
令和3年度実習指導者養成教育	1
全国赤十字医療ソーシャル・ワーカー協議会総会	1
実習指導者研修会	1
がん相談員基礎研修(1)(2)	1
地域包括ケアシステムにつなげる入退院支援①(看護協会研修)	1
救急車トラック等運転技術研修会	1
神奈川県看護協会教育研修会	1
中堅職員研修会	1
医療対話推進者養成セミナー	1
全国赤十字医療ソーシャル・ワーカー協議会スーパービジョン研修会	1
全国赤十字医療ソーシャル・ワーカー協議会全体研修	1
赤十字救護班主事研修会BASIC	1
全国赤十字医療ソーシャル・ワーカー協議会 専門研修会	1
第17回日赤東部ブロック医療連携実務研究会	1
西区医師会訪問看護ステーション研修会	1
認定看護管理者教育課程セカンドレベル	1
自殺未遂者ケア研修	1
がん相談員基礎研修(3)	1
全国赤十字医療ソーシャル・ワーカー協議会 初任者研修会	1
本人の意向を尊重した意思決定支援のための研修会	1
第二回両立支援コーディネーター基礎研修	1
在宅療養に向けた看護	1
日本赤十字社臨床倫理と医療対話の研修会	1
ハラスメント研修	1
コミュニケーション研修	1
新任係長級職員研修	1

③その他

内容	回数
病院訪問	5
患者のための外出	1
施設訪問	1
役所訪問	1

4-6 市民委員会

1 データ

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催日 (出席人数)	令和2年3月6日～ 19日(文書審議)	令和3年3月5日 ～23日(文書審議)	令和3年3月30日 (9人)

	委員氏名	役職
1	行天 良雄	医事評論家
2	秋山 修一	横浜市中区医師会 会長
3	三角 隆彦	社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院 院長
4	荻野 安奈	作家 慶應義塾大学文学部教授
5	茅本 隆司	日本発条株式会社 代表取締役会長
6	川本 守彦	川本工業株式会社 代表取締役社長
7	河村 朋子	磯子区医師会訪問看護ステーション管理者
8	松澤 秀夫	中区連合町内会長連絡協議会 会長
9	田島 真也	横浜みなと赤十字病院奉仕団 団員

2 成果

過去2年間、当委員会を文書審議で実施していたが、令和3年度市民委員会は、3年ぶりに直接開催となった。

報告内容は以下のとおりである。

- ・横浜市立みなと赤十字病院の現況
- ・新型コロナウイルス感染症対応について
- ・救急外来環境改善工事について
- ・行天委員長からの提言

当院の運営に対し有識者から意見をお聞きし、上記各報告についてだけではなく、その他当院の様々な問題点についてもご指摘をいただく場となっている。

3 課題

委員の方からご意見をいただいた場合に、担当部署が責任をもって改善に向けた行動に繋げることが必要である。

4-7 治験・受託研究

1 データ

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
治験実施件数	26件	23件	19件
自主臨床試験件数	140件	146件	155件
特定臨床研究*	8件	8件	7件
製造販売後調査件数	45件	50件	53件

*経過措置を経て、令和元年度より対応を開始している。

2 成果

(1) 治験

治験審査委員会は毎月1回開催し、開催回数は12回であった。今年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため昨年度に引き続き11回分の委員会をWeb会議システムにより開催し、1回のみ（第9回開催）集合形式で開催した。

令和3年度新規治験受託件数は8試験（医薬品8試験）であり（ただし、このうち1件は申請途中で受託中止となった）、初めて医師主導治験を受託した。内訳は下記のとおりである。

- ① 早期症候性アルツハイマー病を対象としたプラセボ対照第Ⅲ相試験
- ② 日本人糖尿病性多発神経障害患者を対象としたプラセボ対照第Ⅱ相
- ③ 新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）肺炎を対象としたプラセボ対照二重盲検第Ⅱ相医師主導治験
- ④ 成人T細胞白血病リンパ腫（ATL）患者に対する第Ⅱ相試験の継続投与試験（⇒諸事情により受託中止となった）
- ⑤ 軽度及び中等度アルツハイマー型認知症患者を対象とした無作為化二重盲検並行群間比較試験 第Ⅲ相試験
- ⑥ 関節リウマチ患者を対象とした安全性及び有効性を評価する多施設共同長期継続投与試験
- ⑦ コントロール不良な喘息を有する患者を対象に有効性及び安全性を比較する24週間の多施設共同ランダム化二重盲検並行群間比較試験
- ⑧ ステロイドパルス療法で効果不十分な自己免疫性脳炎患者を対象とした有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相比較試験

(2) 自主臨床研究

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、侵襲および介入のない研究については文書審議（介入がなく軽微な侵襲があるものも含む）を実施した。新規申請は中央一括審議も含め35件であった。

研究の実施支援においては、治験コーディネーター（CRC）の支援体制を整備し、いくつかの研究において同意説明補助、データ入力、データ抽出等の支援を実施した。

（3）特定臨床研究

研究分担施設として実施した研究は7試験であった。施設管理者への報告および承認取得の体制を構築し、臨床研究法から逸脱のないよう施設内での情報伝達を実施した。

（4）教育・研修

研修、臨床研究の申請方法および手順書等の案内は主に電子カルテ掲示板を通じて実施した。初回研修セミナーとして指定した2つのe-learningの新規受講者は計50名であった。継続研修セミナーとしては、7月に「遺伝子解析研究に伴う研究倫理 ～規制の動向と倫理的判断～」のテーマで外部講師を招いたセミナーを会場とWebを併用したハイブリット形式にて開催した。参加人数は127名（会場80名、Web47名）であり、このうち院外からの参加者は38名であった。また、本セミナーは専門医機構の認定講習として単位認定を受けており、修了証の発行者数は34名であった。2022年3月に2回目のセミナーを開催予定であったが、諸事情により延期となった。

3 課題

（1）治験

- ・治験管理システムをさらに活用し、紙の資料から電子データを利用した委員会審議を実施できるよう手順書及び環境等の整備および見直しを進める。
- ・治験受託件数の増加および実施率の向上に向けて、改善点を検討し対応を図る。
- ・GCP改訂を反映した手順書へ改訂を行う。

（2）自主臨床研究

- ・令和4年3月10日に通知された「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の改正に伴い、手順書の見直しを図り、個人情報保護法に則った研究実施体制の整備および審議体制の整備を行う。
- ・臨床研究の院内規定及びデータ管理体制について、実施状況報告および終了報告が適切に実施されるよう研究者へ周知を図る。
- ・利益相反に関する規定の新設および様式の改定を予定しているため、適切な申告が行われるよう改定版について研究者へ周知する。
- ・臨床研究の申請から審議までが円滑に行われるよう手順の検討ならびにシステム導入について検討を進める。

（3）特定臨床研究

- ・整備途中である手順書及び様式を整え、体制を構築する。

4-8 患者・市民に対する相談・啓発活動

1 データ

<安全講習会開催実績>

(1) 赤十字救急法短期講習会 (BLS 講習会)

令和元年度		令和2年度		令和3年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
5月15日	9名	9月16日	8名	5月19日	7名
7月18日	4名	11月12日	5名	9月15日	15名
9月20日	5名	1月14日	3名	11月15日	9名
11月14日	4名			1月18日	6名
1月16日	5名				
5回	27名	3回	16名	4回	37名

(2) 赤十字救急法救急員養成講習会

令和元年度		令和2年度		令和3年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
12月3日 ～5日	10名	開催なし		開催なし	
1回	10名				

(3) 赤十字健康生活支援講習会 (短期講習会)

令和元年度		令和2年度		令和3年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
7月5日	37名	11月5日	20名	11月26日	16名
8月2日	15名				
2回	52名	1回	20名	1回	16名

(4) 水上安全法講習会 (市内小学校の着衣泳短期講習会へ指導員職員を派遣)

令和元年度		令和2年度		令和3年度	
開催日	参加者	開催日	参加者	開催日	参加者
7月12日	70名	開催なし		開催なし	
7月12日	160名				
7月18日	160名				
3回	390名				

2 成果

新型コロナウイルス感染症対策のため、安全講習会の多くを中止せざるを得なかった。

3 課題

救急法短期講習会（BLS 講習）や健康生活支援講習会は、当院を訪れた患者や来訪者の急変時の対応も含まれており、来訪された方々の健康や安全の確保、サービスの向上のために、引き続き講習会を開催し、より多くの職員の習得を目指す。

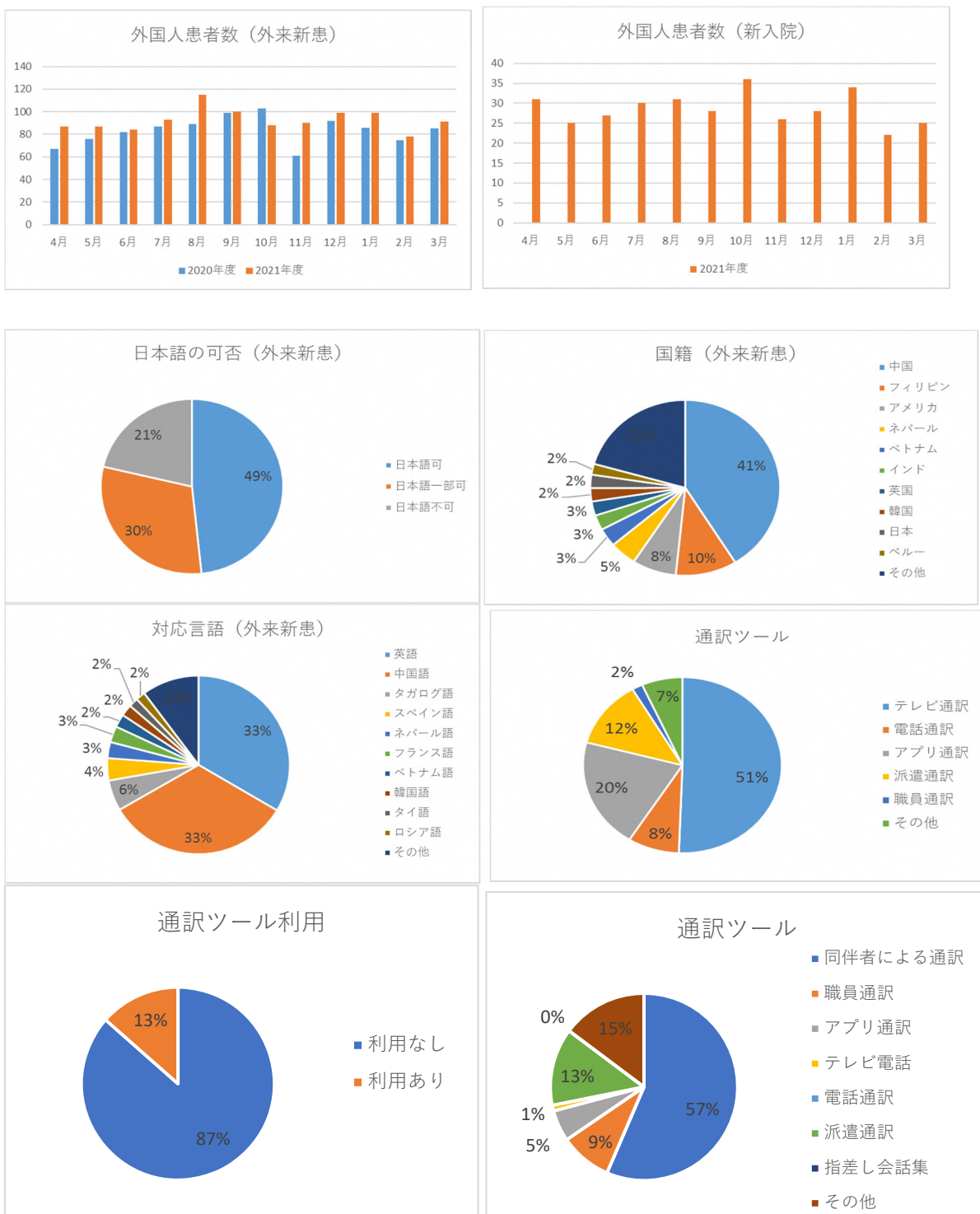
4-9 患者サービス

1 データ

(1) 患者満足度調査結果（令和3年度）

患者満足度調査は新型コロナウイルス対応および実施に伴う感染拡大防止のため令和3年度は中止した。

(2) 外国人患者統計（令和3年度）



(3) 外国人患者受入れ体制の整備活動

- ・外国人患者受入れ医療機関認証制度（J M I P）統計情報の収集と提出
- ・国際医療部運営委員会を年3回開催
- ・外国人患者対応マニュアル、通訳マニュアルの見直し
- ・院内サイン、各種文書の多言語化対応（英語、中国語）
- ・デジタルサイネージの導入による効果的な情報提供（動画含む）の実施
- ・通訳ツール（テレビ電話通訳、アプリ通訳）活用のため機器の増設と研修会の実施
- ・通訳ツール開発に関する監修協力
- ・外国人患者未収金対策ワーキングの開催

(4) 病院ボランティア活動

ア 総合案内

新型コロナウイルス感染症対策のため、コンサート等のイベントでの活動は中止となったが、感染拡大期であっても院内入口付近での外来患者の案内や誘導は一日も休まず実施した。

イ 作業部会

- (ア) ガーデニング：第2・4水曜日
 - (イ) パッチワーク：第1・3金曜日
 - (ウ) 車いす清掃：第1・3金曜日
 - (エ) 病院が実施する災害訓練への協力
 - (オ) アレルギーセンター主催「市民セミナー」への協力
- * (ウ)～(オ)は、コロナ感染症対策により一時休止中。

2 成果

(1) 患者満足度調査

サービス向上委員会では、毎年「患者満足度調査」（令和3年度は未実施）及び「みなさまの声・ご提案」によって集積される患者のご意見を分析し、患者サービス向上への取組を行っている。「みなさまの声・ご提案」に寄せられたご意見は回答を作成しご理解をいただいている。

また、3年度も「接遇研修」を開催した。幅広い職種が参加し、当院職員の接遇マナー向上に役立った。

(2) 外国人患者統計（令和3年度）

外国人患者対応では、JIMP 認証取得後、定期的に患者統計、アンケート、対応困難事例の共有を行い、国際医療部運営委員会にて改善を図っている。

(3) 外国人患者受入れ体制の整備活動

オリンピック・パラリンピックを機に、受入れ体制や各種書類の見直しを行うことができた。新しい取り組みとして、病院のホームページに英語の問い合わせフォームを設置し対応を開始した。また、デジタルサイネージを導入、省スペースで、多言語による情報提供を可能にした。

令和3年度は COVID-19 の影響により受診される外国人患者の多くは在日外国人患者で、ある程度日本語が理解できる患者が多かったが、通訳においては感染対策として派遣通訳ではなくテレビ電話通訳やアプリ通訳を積極的に活用した。これらは24時間365日利用可能であり、外国語が苦手な職

員も安心して対応ができるようになった。また、通訳利用した患者のアンケート結果からも9割以上が満足という回答をいただいている。

(4) 病院ボランティア活動

ボランティア活動は、みなと赤十字病院奉仕団の病院ボランティアの方々に協力いただき、車いす清掃、敷地内のガーデニング、外来患者の案内を実施している。

3 課題

(1) 患者満足度

会計待ち時間は、引き続きスタッフの確保・スキルアップをはじめとした待ち時間短縮の取組を重点的に進める必要がある。その他、職員の接遇を向上させるのはもちろんのこと、患者の思いに寄り添った対応ができるよう教育を進める。

(2) 外国人患者

外国人患者対応としては、今後、訪日外国人の増加が予測されるため、統計データを活用し、現場で必要な書類の多言語化を更に進めていく。また、外国人患者の対応には、異文化理解や、外国の医療システムの理解が欠かせず、研修などを企画し、職員の理解を深めていく必要がある。

4-10 医療データベースの構築と情報提供

1 成果

- (1) 業務改善のためのシステム導入
 - ・診断書の作成・管理体制を改善するため、診断書作成・管理ソフト「MEDI-Papyrus」を導入した。
 - ・職員の勤怠管理をより効率的に行うため、病院・医療業界専用の勤怠管理システム「STORK.NaVi」を導入した。
- (2) 全社統合情報システムの導入
 - ・インターネット接続のセキュリティ体制を強化するため、日本赤十字社が進める全社統合情報システムに参加した。

2 課題

- (1) 電子カルテシステムのリプレイス検討と安定稼働
 - ・電子カルテのリプレイスに向けた検討を行うほか、システムの安定稼働、レスポンス改善に努める。また、必要に応じて新しいシステムやツールを導入する。
- (2) 情報セキュリティ体制の強化
 - ・外部からのシステム侵入や情報漏えいを防ぐため、職員のリテラシー向上など情報セキュリティ体制を強化する。

5 職員研修

5-1 職員研修（医師）

1 データ

(1) 事業実績

研修会等名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
モーニングセミナー	年間43回	年間44回	年間43回
医学生向けプログラム 説明会	年間3回 (107名参加)	年間3回オンライン (125名参加)	年間3回オンライン (155名参加)
Morbidity and Mortality Conference	年間3回	年間3回	年間4回
講演会	年間2回	年間1回	年間2回
新規採用者 オリエンテーション	4月1日	未開催	4月1日
新規採用医師 オリエンテーション	4月2日	未開催	4月2日
新規採用研修医 オリエンテーション	4月3～9日 (5日間)	4月6～9日 (4日間)	4月5～9日 (5日間)
チーム医療 ワークショップ	4月26・27日 (2日間)	10月23日	4月28日
院内CVCライセンス 制度	認定試験4回 指導者試験0回	認定試験3回 指導者試験0回	認定試験2回 指導者試験0回
指導医養成講習会	-	-	11月27・28日 (2日間)
JMECC	1月19日	未開催	未開催

(2) 採用人数

【初期研修】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
研修医	8 (8)	8 (8)	8 (8)	8 (8)
研修歯科医	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)

※ () は定員数

【専門研修】

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
整形外科専攻医	0 (2)	0 (2)	2 (2)	1 (2)
内科専攻医	2 (4)	4 (4)	5 (5)	5 (6)
外科専攻医	1 (2)	1 (2)	1 (2)	1 (2)
救急科専攻医	1 (6)	0 (6)	4 (6)	6 (6)
麻酔科専攻医	0 (2)	0 (2)	0 (2)	3 (3)
精神科専攻医	—	—	0 (3)	2 (2)

※ () は定員数

(3) 診療科見学者数 (延べ人数)

【医科】

(医学生) 見学者年間延べ人数

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
117	128	140	169

(研修医) 見学者年間延べ人数

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
15	7	14	17

【歯科】

(歯学生) 見学者年間延べ人数の推移

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
12	15	10	5

2 成果

医師及び歯科医師臨床研修では、医師 8 名、歯科医師 1 名が研修を修了した。令和 2 年度より医師臨床研修制度が新制度に移行し、必須研修項目の明確化、EPOC 2 での評価など、新制度への対応を行った。

EPOC2 や当院規定の書式により指導医および他職種が研修医に対する評価を実施し、研修医にフィードバックした。

専門研修では、整形外科 1 名、内科 2 名、外科 1 名、救急科 1 名が研修を修了した。

初期臨床研修及び専門研修に関して令和 3 年度の採用活動は引き続きホームページを基本とし、医学生向けに当院独自にプログラム説明会を開催した。

3 課題

臨床研修では、令和 2 年度に開始した医師臨床研修制度について、一般外来研修や必須 7 項目をいかに研修してもらおうかについて更なる対応が必要である。

専門研修では、制度開始から 3・4 年が経ち、管理委員会など年間計画立案、プログラム改訂、連携病院への連絡など定時作業のマニュアル化が望まれる。

昨今の新型コロナウイルス感染状況に応じた学生や臨床研修医への広報活動・採用活動を検討していく必要がある。

5-2 職員研修（看護部）

1 データ

(1) ラダー認定者数・院外研修受講者数等

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実践者ラダーレベルⅠ認定	57人	51人	55人
レベルⅡ認定	51人	39人	43人
レベルⅢ認定	2人	14人	4人
レベルⅣ認定	0人	0人	0人
管理者ラダーレベルⅠ認定	2人	0人	0人
レベルⅡ認定	0人	0人	1人
レベルⅢ認定	0人	0人	0人
ラダー研修	62回	62回	62回
役割研修	34回	33回	33回
新人技術研修	8.0日	11日	11日
院外研修(看護協会)	81人	59人	76人
看護管理者ファースト研修	4人	0人	4人
看護管理者セカンド研修	2人	2人	1人
看護管理者サード研修	1人	0人	0人
臨床指導者研修	8人	3人	7人
認定看護師研修	1人	2人	3人
学会発表・参加	28人	27人	48人
特定行為研修	1人	0人	2人

(2) 院内・院外特定行為研修実績

区分別科目名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	1人	2人	2人
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	0人	1人	1人
循環動態に係る薬剤投与関連			
創部ドレーン管理関連	0人	1人	0人
精神および神経症状に係る薬剤投与関連	0人	0人	1人

(3) 院内ラダー・役割研修実績

研修名	研修名	回数	受講者数	研修名	研修名	回数	受講者数
実践者 レベルⅠ	フォローアップ	1	66	実践者 レベルⅢ	認知症ケア	4	20
	医療と診療情報	1			口腔ケア	4	20
	フィジカルアセスメント	1			退院支援	5	17
	多重課題	1		実践者 レベルⅣ	ストレスマネジメント	2	1
	災害救護	1			キャリアカウンセリング	2	0
実践者 レベルⅡ	フィジカルアセスメント	5	53	管理者 ラダー	新任係長研修	6	5
	赤十字と看護倫理	1	54		新任師長研修	5	0
	看護と診療報酬	1	53	役割研修	救護員のための赤十字看護師研修	4	46

	看護コミュニケーション	1	58		フォローアップ研修	5	14
	ナラティブ	2	50		静脈注射基礎Ⅰ	3	55
実践者 レベルⅢ	実地指導者	5	36		静脈注射基礎Ⅱ	1	52
	リーダーシップと メンバーシップ	3	22		2021年教育担当者	2	11
	看護倫理Ⅲ	2	15		2022年教育担当者	1	11
	看護研究	2	12		褥瘡専任看護師研修	6	37
	マネジメント入門	3	17		暴力対応研修	1	0
	フィジカルアセスメント	4	14		看護助手研修	9	55
					看護助手ラダーⅠ	6	8
					看護助手ラダーⅡ	3	3
					看護助手ラダーⅢ	2	0
					クランク研修	2	15

2 成果・課題

(1) 看護職員のキャリア開発

コロナ禍ではあったが計画していた実践者ラダー研修は実施できた。院外研修もWEBを取り入れた研修が多く、自宅で受講できる環境となり、受講しやすくなったため、積極的に受講を進めた。

学会も開催方法がWEBやハイブリット開催など、遠方でも参加できるようになり昨年度より多く参加できた。看護研究や業務改善の実践を院外で発表する準備を進められた。課題は実践者ラダー担当者の育成を進める。

(2) 特定行為看護師の育成

特定行為看護師の指定機関として新たに、区分別科目の呼吸器（長期呼吸療法にかかわるもの）関連、動脈血液ガス分析関連の2区分3行為の指定機関の申請をし、承認された。2名の研修生が今後受講予定である。特定行為研修を含む認定看護師教育課程に2名が受講した。クルティカルケア認定看護師養成課程で1名が栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連、呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連、循環動態に係る薬剤投与関連の2区分3行為を修了できた。認知症看護認定看護師養成課程で1名が抗けいれん剤の臨時の投与、抗精神薬の臨時の投与、抗不安薬の臨時の投与の1区分3行為を修了できた。

特定行為研修修了生が臨床の場で得た知識と技術を発揮できるように手順書を整え、安全に特定行為を実施し、患者の早期回復及び、医師の働き方改革の推進を図れるよう継続して育成する。

(3) 看護管理者のキャリア開発

看護管理者研修のファースト研修に4名、セカンド研修に1名派遣した。今後も研修受講を推進する。自己の管理課題を明確にするために管理者ラダー申請を推進するのが課題である。

(4) 役割研修による看護師育成

役割研修の実施は看護の質の向上をめざし、具体的な看護実践ができる看護師の育成を目的としている。褥瘡専任看護師を育成し、184名の看護師が各部署で褥瘡対策を実施している。特に皮膚の保湿により褥瘡の発生率が低

下する成果が得られた。静脈注射研修を開催し安全な静脈確保ができる看護師を毎年約 50 名育成し、現在 390 名の看護師を育成した。また、救護看護師の育成として救護員としての赤十字看護師フォローアップ研修を秦野赤十字病院と合同開催し、ブラッシュアップした研修を実施できた。役割研修を受講した看護師が各部署で役割を果たし、今後も引き続き看護の質を向上させる研修を検討する。

(5) 看護助手のキャリア開発

2 年度から導入した看護助手ラダーの申請者はレベル I 8 名、レベル II 3 名であった。学ぶ機会を作ることで、仕事のやりがいや、今後の目標を考える機会となった。また、働きながら介護福祉士の資格が取得できるように、受講費や通学のための勤務の保障を行ったことで 7 名の看護助手が介護福祉士資格を取得した。看護師と協働し患者のケアの質向上を目指す。今後の課題は介護福祉士のキャリア支援である。

5-3 職員研修（薬剤部）

1 データ

(1) 部内研修実績

- ・ Quality Indicator (Q I) とバランスト・スコアカード (B S C) から個人目標へのつなげ方 1回
- ・ ランチタイムセミナー 26回
- ・ 文献検索、D I 情報共有 2回
- ・ がんに関する勉強会 9回
- ・ 感染に関する勉強会 4回
- ・ 循環器に関する勉強会 2回
- ・ 栄養に関する勉強会 4回
- ・ 精神科領域勉強会 1回
- ・ 糖尿病腎臓関連勉強会 3回
- ・ 緩和薬物療法勉強会 1回
- ・ 妊婦授乳婦と薬剤勉強会 1回
- ・ TDM 講義 2回
- ・ 学会報告会 4回
- ・ 病棟関連業務、調剤室業務に関するオーディット及び勉強会 7回
- ・ 共有事例研究 3回

(2) 学会発表

- ・ 日本医療薬学会 3演題
- ・ 日本緩和医療薬学会 2演題
- ・ 日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 1演題
- ・ 日本癌治療学会学術集会 1演題
- ・ 日本臨床腫瘍学会学術集会 1演題

2 成果

- ・ 薬剤部内において部員会でのプログラムを作成し、薬剤師研修委員会を中心に部員会をはじめとした研修の質の向上に努めている。
- ・ 令和3年度は新型コロナウイルスの蔓延状況により、開催方式が変更されたりするなど、研修等の継続に支障がでたものの、できる限りの研鑽を進めてきた。
- ・ Q I や B S C を基に、個人目標シートを作成するとともに年2回以上の面談を実施し目標達成度と次の目標を確認しながら所属長及び研修担当と各職員が情報を共有し継続的に実施している。
- ・ コロナ禍においても、日常業務から問題点を抽出し、評価、改善をおこな

い業務の改善や研修の継続につなげてきた。

3 課題

- ・薬剤師教育ラダーを活用し教育を行っているが、評価方式については日赤本部の教育ラダーも参考にしながら、引き続き検討していく必要がある。
- ・専門、認定薬剤師取得者を増やし薬物療法の質向上につなげるため、研修、学会への参加を引き続き積極的に進める。

また、今後感染状況を加味しながら他施設との情報交換も積極的に進め、専門、認定の必要性についてもさらに理解を深める必要がある。

- ・設定した個人目標を確実に達成させ、個々の質を高めるとともに薬剤部全体の質を高めるよう目標管理シートの活用や部員会の充実に努める。

5-4 職員研修（医療技術部門）

1 データ

研修会名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規採用者オリエンテーション	4月開催	4月開催	4月開催
インシデント報告ツール説明会	4月開催	4月開催	4月開催
医療技術部門合同研修会	—	—	—
チーム医療ワークショップ	年間2回開催	年間2回開催	年間2回開催
各部門研修（5部門）	年間70回開催	年間40回開催	年間60回開催

2 成果

医療技術部門全体で行う研修は開催せず、各部門（放射線科部、検査部、栄養課、リハビリテーション科、臨床工学課）で、それぞれ研修・勉強会を開催した。新型コロナ禍の中、部署による取り組みの差はあるが、研修会、勉強会を企画し、成果を上げることができた。

学会も、Web開催が主流となり、参加者も増えつつある。

3 課題

新型コロナ禍の前年に引き続き、積極的な院内研修の参加、各部門内での研修の実施をサポートするとともに、専門職の認定資格取得、学会発表も推進していく。医療技術部門の個々の質を高めるような充実したサポート体制の構築が必要である。

5-5 職員研修（事務部）

1 データ

	令和2年度	令和3年度
レベル1 (入社1年目)	対象者：4人 総合案内研修、他部署体験、コミュニケーションスキル研修など12回	対象者：3人 総合案内研修、他部署体験、コミュニケーションスキル研修など12回
レベル2 (入社2年目)	対象者：6人 医療保険制度、会計の基礎、目標管理など9回	対象者：4人 医療保険制度、会計の基礎、目標管理など6回
レベル3 (入社3年目以降の主事)	対象者：49人 業務改善、コンプライアンス、PCスキル、赤十字の現状と課題、災害対応研修など9回	対象者：49人 業務改善、コンプライアンス、後輩指導、PCスキル、災害対応研修など12回
レベル4 (係長クラス)	対象者：18人 当院の現状と係長の役割（講義聴講/プレゼンテーション）2回	対象者：19人 SWOT分析を用いた目標の設定や課題解決（講義聴講/プレゼンテーション）2回
レベル5 (課長クラス)	対象者：15人 従業員エンゲージメントの向上1回	対象者：17人 自己啓発研修、オンラインセミナー受講

2 成果

レベル別教育研修のうち、レベル1については、仕事に直結する内容やマネー研修など受講者の需要と合致し満足度は高い。レベル2については、研修内容及び習熟度の判定（効果測定）についても定着した。レベル3については、必須と選択コースに項目を分けて、主体性を尊重した研修のほか、仕事の根拠理解や実務能力向上、後輩指導研修等、多彩な研修をすることができた。レベル4及び5については、合同で課長・係長に向け、労務管理と人材育成について講演会を実施し、新たな知識の獲得と認識を改めることができた。

引き続き感染防止への配慮から、制約を設けつつも例年に準じて、研修企画の確保をすることができた。

3 課題

レベル3対象職員は、人数・経験年数も幅広く、多種多様なニーズがあるが、それに伴い、開催回数が多くなり担当者の負担も少なくない。今後は開催方式を工夫して効率的に行うことが検討課題となる。また、研修履歴および資格取得状況の把握方法についても課題となる。

将来の組織運営を見据え、中堅層・管理監督者層（レベル4・5）を育成する上で、高度な専門性を有する医療人の育成と赤十字グループ間の異動の両立については継続して取り組む課題となる。

6 院外からの研修受入れ

6-1 院外からの研修受入れ（医師）

1 データ

クリニカルクラークシップ受入れ数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受入れ総数	20名	2名	2名

2 成果

近年、医学教育の国際基準に適合するため大学の臨床実習期間が延長され、大学病院以外の病院でもクリニカルクラークシップが行われるようになってきている。当院でも東京医科歯科大学をはじめとする大学からクリニカルクラークシップの学生を受け入れている。

ただ、東京医科歯科大学のクリニカルクラークシップ受け入れは令和2年度に続き令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

令和3年度は2大学（日本大学、順天堂大学）から2名を受け入れ、2名とも救急科で実習を行った。

3 課題

新型コロナウイルス感染症の影響により、各大学からのクリニカルクラークシップ受け入れ要請が減少しているが、受け入れ要請が再開されれば可能な限り学生を受け入れていきたい。

6-2 院外からの研修受入れ（看護部）

1 データ

(1) 研修受入れ数（添付資料参照）

ア 看護基礎教育実習

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受入れ総数	409名	162名	263名

イ 卒後教育実習

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受入れ総数	6名	5名	11名

(2) 実習指導者研修

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実習指導者研修修了者数※	32名	29名	40名

※看護師長、日本赤十字看護大学実習指導者研修は含まない。

2 成果と課題

(1) 基礎教育実習と卒後教育実習の受入れ

ア 基礎教育実習は、計画した2大学（日本赤十字看護大学、創価大学）、3看護専門学校（神奈川県立よこはま看護専門学校、神奈川県立衛生看護専門学校、横浜市病院協会看護専門学校）を受け入れた。3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の時期は実習を中止にせざるを得なかった。感染が落ち着いている時期は、午前中の臨地実習を基本とし受け入れた。その結果、2年度より多くの実習生を受け入れることができた。感染状況に合わせて柔軟に対応するのが課題である。

イ 卒後教育では、日本赤十字看護大学（がん専門看護師、看護管理）各1名、日本赤十字看護大学大学院国際保健助産学専攻2名、国際医療福祉大学大学院在宅看護学領域1名、神奈川県立衛生看護専門学校助産師学科2名、感染管理認定看護師2名、日本赤十字幹部看護師研修センター（ファーストレベル、セカンドレベル）各1名、合計11名の学生を受け入れた。新型コロナウイルス感染症のため、実習時間を短縮して行った。研修生への指導の機会は、現場へもよい影響が得られることが期待できる。今後も積極的に研修生を受け入れていきたい。

(2) 実習指導者の育成

3年度は、実習指導者研修（長期）に7名派遣した。今後も長期実習指導者研修生が増員できるよう計画的な育成を目指す。日本赤十字看護大学フロンティアセンターの実習指導者研修はWEB開催となり12名が受講できた。今後も教育環境を整える目的で育成を継続する。

(3) 実習環境の整備

休憩室の3密を避けレイアウトを変更し、除菌用アルコールタオルを常備し、感染予防対策を実施した。

6-3 院外からの研修受入れ（薬剤部）

1 データ

研修名	令和元年度	令和2年度	令和3年度
薬科大実務実習	16名	17名	15名
早期体験実習	14名	0名	0名
学生版薬薬連携実習	32名	16名	10名

2 成果

薬科大学実務実習では、新しいコアカリキュラムのプログラムに沿って臨床現場に重点を置き実習を行ってきた。学生1名に対し実務実習指導薬剤師を2名配置し、臨床に則した形がとれるようになってきた。

また、早期から薬薬連携を意識することを目的とし、中区薬剤師会会員薬局にて実習中の学生とともに薬薬連携実習を実施した。

令和3年度は新型コロナウイルスの蔓延により感染拡大状況を見ながら1回のみの実施となったが、通常とは違った意味でよい実習の場になったと考えている。

また、薬科大学の早期体験実習、中学生の職場体験実習、神奈川県病院薬剤師会実務実習の研修の受け入れに関して令和3年度は見送りとなっている。

3 課題

令和元年度から実務実習では、新しいコアカリキュラムでの実習が展開されている。コロナ禍にありながら状況を加味し、できる限り患者を継続してモニタリングできるよう、実務実習を継続してきた。今後は、さらに内容を充実させ、当院独自に作成しているテキストの中身もブラッシュアップさせながら取り組んでいきたい。

6-4 院外からの研修受け入れ（リハビリテーション部）

1 データ

リハビリテーション実習生受け入れ状況

令和元年度：	理学療法評価実習生	1名	理学療法臨床実習生	3名
	作業療法臨床実習生	3名		
令和2年度：	作業療法臨床実習生	2名		
令和3年度：	理学療法臨床実習生	2名		
	作業療法臨床実習生	1名	作業療法評価実習生	1名

2 成果

令和3年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、予定した理学療法及び作業療法実習で中止、あるいは急遽の実習生を受け入れるなど調整を余儀なくされた。結果として理学療法及び作業療法は計4名の実習生受け入れた。

例年と比較すると、指導者、学生の双方が常に感染対策に注意を払いながらの実習となった。リハビリテーションの実施については本来、感染対策は十分に成されるべきであり、日頃の感染対策について学び直す良い機会になったと思われる。

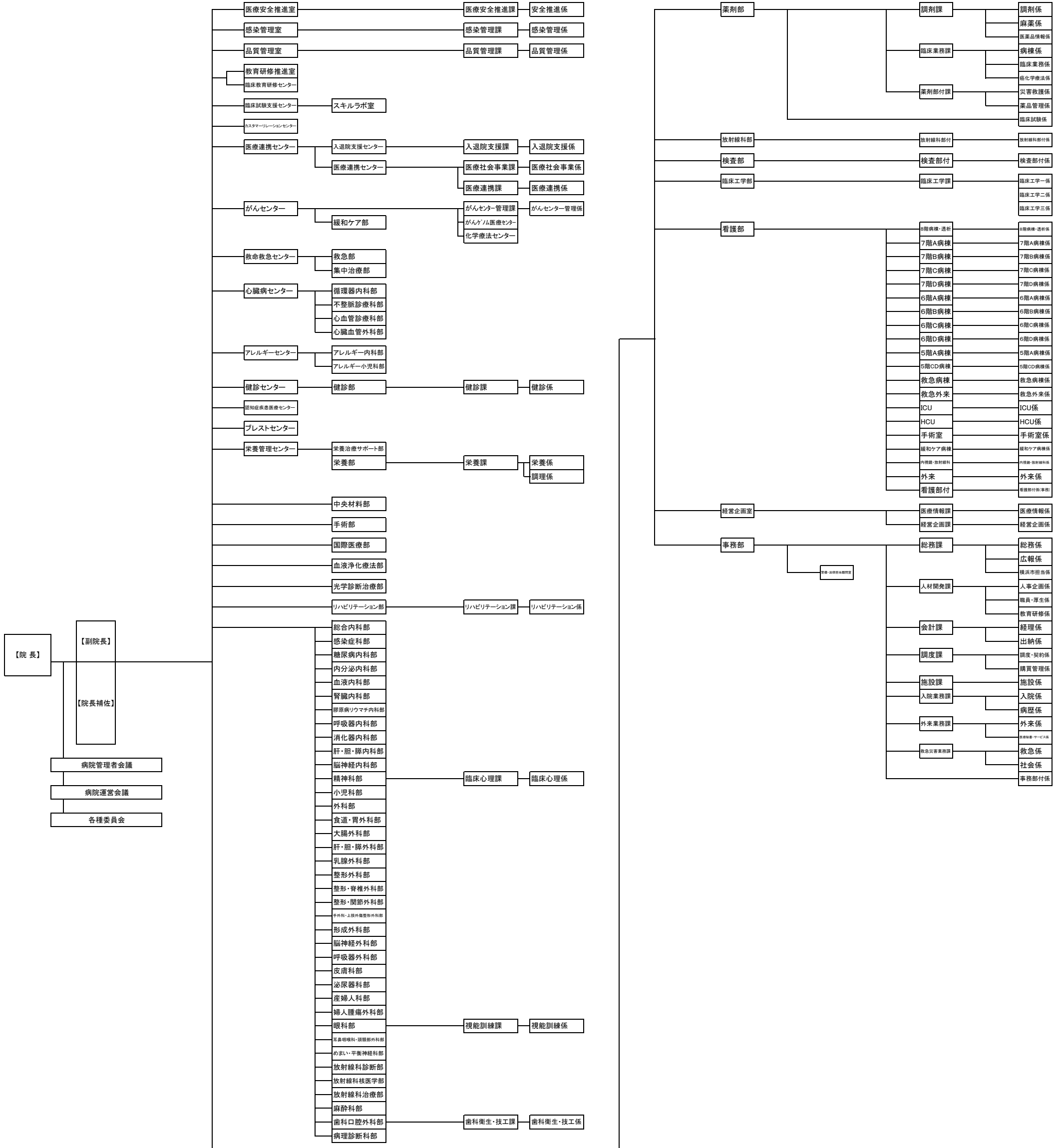
3 課題

実習生を受け入れる上で問題になるのが、実習担当スタッフの時間的、精神的負担であるが、今年度は例年以上に感染対策へ気を配る必要に迫られ、また学校とも実習の可否についての相談も増え、その点も負担となった。

後輩たちをいかに優秀な人材に育てるのかという使命は十分に理解しているものの、新型コロナウイルス感染拡大の影響は大きく、特に食事中的の会話が出来ないことから、実習生とのコミュニケーションや関係構築には難しい面もあった。

厚生労働省から公布された理学療法士作業療法士養成施設指定規則の改正に対応するべく、臨床実習指導者研修会へは今後も継続的に参加して行く必要がある。

7 職員



7-2 職員配置状況

令和4年3月31日現在

職 種	配置 人員数	内 訳			備 考	
		常勤	非常勤	派遣職員等		
管 理 部 門	事 務 職 員	197.0	98.0	11.0	88.0	常勤に看護師4名、横浜市職員1名含む
	技 術 職 員	1.0	1.0	0.0	0.0	
	運 転 手	0.0	0.0	0.0	0.0	
	ボ イ ラ ー 技 師	0.0	0.0	0.0	0.0	
	電 話 交 換 手	2.0	0.0	0.0	2.0	
診 療 部 門	医 師	275.0	197.0	78.0	0.0	
	歯 科 医 師	6.0	5.0	1.0	0.0	
看 護 部 門	看 護 師	582.0	564.0	18.0	0.0	
	准 看 護 師	0.0	0.0	0.0	0.0	
	看 護 助 手	73.0	47.0	14.0	12.0	
	事 務 職 員	17.0	2.0	0.0	15.0	
健 診 部 門	看 護 師	3.0	3.0	0.0	0.0	
	事 務 職 員	15.0	3.0	0.0	12.0	
連 携 部 門	社 会 福 祉 士	8.0	8.0	0.0	0.0	
	精 神 保 健 福 祉 士	2.0	2.0	0.0	0.0	
	看 護 師	10.0	10.0	0.0	0.0	
	事 務 職 員	12.0	5.0	0.0	7.0	常勤に横浜市職員1名含む
検 査 ・ 医 療 技 術 部 門	薬 剤 師	47.0	45.0	0.0	2.0	
	診 療 放 射 線 技 師	38.0	38.0	0.0	0.0	
	臨 床 検 査 技 師	51.0	45.0	6.0	0.0	常勤に衛生検査技師1含む
	理 学 療 法 士	20.0	20.0	0.0	0.0	
	作 業 療 法 士	9.0	9.0	0.0	0.0	
	言 語 聴 覚 士	5.0	4.0	1.0	0.0	
	マ ッ サ ー ジ 師	0.0	0.0	0.0	0.0	
	臨 床 工 学 技 士	11.0	11.0	0.0	0.0	
	視 能 訓 練 士	2.0	2.0	0.0	0.0	
	歯 科 衛 生 士	4.0	4.0	0.0	0.0	
	臨 床 心 理 士	6.0	2.0	4.0	0.0	
	管 理 栄 養 士	9.0	9.0	0.0	0.0	
	栄 養 士	0.0	0.0	0.0	0.0	
	調 理 師	6.0	6.0	0.0	0.0	
	事 務 職 員	6.0	2.0	0.0	4.0	常勤に看護師1名含む
その他	3.0	0.0	1.0	2.0	アレルギーセンター事務	
合 計	1420.0	1142.0	134.0	144.0		

8 施設管理

8-1 医療機器の整備状況

購入単価500万円以上のもの

	部門名	機器名称	用途	新規・更新
1	中央部門	人工心肺装置	手術用	更新
2	中央部門	高圧蒸気滅菌装置	滅菌洗浄用	更新
3	診療部門	心臓カテーテル用検査装置	循環器内科用	更新
4	診療部門	内視鏡用超音波観測装置	内視鏡用	更新
5	中央部門	超音波画像診断装置	手術用	更新
6	診療部門	超音波画像診断装置	循環器内科用	更新
7	診療部門	超音波画像診断装置	産婦人科用	更新
8	診療部門	超音波画像診断装置	小児科用	更新
9	診療部門	血液浄化装置	透析用	増設
10	診療部門	血管造影 X線診断装置	血管撮影用	更新
11	診療部門	CARTO UNIVU Module kit	循環器内科用	新規

8-2 施設設備改修報告

(令和3年度)

	部門名	施設・設備名称	面積 (㎡)	用途	新規・修繕
1	病院棟内	加湿器	-	院内の湿度を保つための加湿器の更新	修繕
2	エネルギーセンター棟	吸収式冷凍機	-	院内の冷房に使用する冷凍機の更新	修繕
3	病院棟内	手洗い自動水栓化	-	トイレ内の手洗いを手動から自動の水栓へ変更	修繕
4	病院棟内	照明のLED化	-	院内の照明を順次LED照明へ変更	修繕
5	病院棟内	節水コマの導入	-	水道の蛇口に節水コマを取り付けることにより、水の使用量を削減	新規
6	病院棟内	ICU病棟内病室の陰圧化	-	新型コロナウイルス感染症等の感染症に対応するため、ICU病棟内の病室2室に簡易型陰圧装置を設置	新規

8-3 施設設備管理報告 法定及び自主点検業務

法定点検業務等	点検種別	周期	令和3年度												関連法規及び保守管理基準		
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
特定建築物	定期検査	1回/1~3年							●								建築基準法
昇降機設備	定期検査	1回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	建築基準法
自家用発電設備（コージェネ発電）	定期検査	1回/年			●												電気事業法・消防法
ボイラー	性能検査	1回/年				●											労働安全衛生法
第1種圧力容器	性能検査	1回/年				●											労働安全衛生法
コンドミニアム（H29.12.5~休止中）	性能検査	1回/年															労働安全衛生法
第2種圧力容器	自主検査	1回/年	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	労働安全衛生法
小型ボイラ設備	自主検査	1回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	労働安全衛生法
簡易専用水道	定期検査	1回/年															水道法
カスタービン（ガス圧縮機）	定期検査	1回/3年			●												電気事業法
消防設備	定期検査	2回/年					●										消防法
地下タンク貯蔵所	定期検査	1回/3年					●										消防法
避難はしご設備	自主点検	2回/年						●									消防法
高圧ガス製造設備	自主点検	1回/年	●														高圧ガス保安法
医療ガス設備	定期点検	4回/年		●													高圧ガス保安法
特定施設（水質測定）	定期点検	1回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	下水道法
ばい煙測定	定期検査	2回/年			●												大気汚染防止法
特高受変電設備定期検査	定期検査	1回/年							●								電気事業法
高圧受変電設備定期検査	定期検査	1回/年								●							電気事業法
無停電電源設備保守及び定期点検	定期検査	1回/年															電気事業法
（非常用照明）	定期検査	（1回/年）															電気事業法
直流電源設備保守及び定期点検	定期検査	1回/年															電気事業法
電力中央監視設備保守及び定期点検	定期検査	1回/年															電気事業法
建築設備定期検査	定期検査	1回/年															建築基準法
受水槽・高架水槽定期清掃	定期検査	1回/年															水道法
飲料水水質検査	定期検査	2回/年															水道法
害虫定期駆除	定期検査	1回/月	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	ビル管理法

8-4 外部委託（令和3年度）

	委託業務の名称	主な業務内容	受託者（会社名）	主管部署
1	食事療養提供業務	患者用給食の調理、給食材料管理補助、食器洗浄等衛生管理補助、配膳・下膳業務	富士産業株式会社	栄養課
2	中央材料室洗浄・滅菌業務、手術室サポート業務、内視鏡室洗浄・消毒業務	使用済器材の回収・洗浄・滅菌・供給業務、手術室術間清掃業務	日本ステリ株式会社	中央材料部
3	検体検査業務	検体検査業務	株式会社ビー・エム・エル	検査部
4	検体検査業務	検体検査業務	株式会社エスアールエル	検査部
5	検体検査業務	検体検査業務	株式会社L S I メディエンス	検査部
6	患者用ベッド洗浄業務	ベッド等の清拭・定期点検業務	株式会社柴橋商会	調度課
7	寝具賃貸借及び洗濯業務	患者用寝具・職員当直用寝具賃貸借業務、洗濯全般業務	株式会社サンビームランドリー	調度課
8	白衣等リース業務	看護師、看護助手の白衣及びタオルのリース	株式会社柴橋商会	調度課
9	白衣等リース業務	医師、メディカルクラークの白衣のリース	株式会社サンビームランドリー	調度課
10	S P D物流管理サービス業務	医療材料の物流管理業務	株式会社ホスピタルパートナーズ	調度課
11	医薬品院内物流管理業務	購買管理補助業務、薬品在庫管理業務、配置定数薬の補充管理業務、搬送業務等	東邦薬品株式会社	薬剤部
12	手術室コンサルティング業務	オペキットの供給、手術室の効率運営システム	株式会社ホギメディカル	調度課
13	心カテ室等における立会い業務	PM・ICD・CRT-D・CRT-P植込み、フォローアップ等	株式会社A P E X	調度課
14	医事関連業務	外来部門の計算・受付・クラーク業務及び保険請求関連業務	株式会社ソラスト	入院業務課 外来業務課
15	医療情報センター関連業務	職員からの問合せ対応、マスタメンテナンス、操作訓練等	株式会社ソラスト	医療情報課
16	治験事務関連業務	治験事務局支援業務及び治験審査委員会事務局支援業務	ノイエス株式会社	薬剤部
17	院内保育所運営業務	職員子女の保育業務	株式会社ポピンズ	総務課
18	施設管理	施設設備の運転及び点検業務	T M E S 株式会社	施設課
19	警備業務	院内外の警備業務	株式会社K S P	施設課
20	清掃業務	外回り外来部門・病棟・手術室・事務室等院内清掃業務	株式会社丸誠サービス	施設課
21	産業廃棄物処理業務	院内から出されるゴミの収集運搬及び処理業務	株式会社神奈川保健事業社	施設課
22	一般廃棄物処理業務	院内から出されるゴミの収集運搬及び処理業務	株式会社神奈川保健事業社	施設課
23	感染性廃棄物収集運搬処理業務	院内から出される感染性廃棄物の収集運搬及び処理業務	株式会社トキワ薬品化工	施設課

24	医薬品（医療ガス）供給業務	医療用液体酸素・医療用液体窒素・医療用酸素ガス等の供給業務	株式会社イワサワ	施設課
25	統計解析業務	ARMS及び喘息日誌症例データ解析	小松研究事務所	アレルギーセンター
26	データ保管業務	診療録保管業務	株式会社寿製作所	入院業務課
27	緑地維持管理業務	院内緑地の剪定・除草・芝生刈り業務	株式会社愛花園	施設課
28	被ばく線量測定業務	ルクセルバッジ・リングバッジ測定	長瀬ランダウア株式会社	放射線科
29	医療廃棄物処理業務	医療廃棄物処理業務	横浜綿布工業株式会社	施設課
30	病棟病室床頭台・ランドリー管理業務	病棟病室床頭台（TV・冷蔵庫）・コインランドリー保守管理業務	株式会社パースジャパン	施設課

※派遣・保守に関する業務、倉庫借用に伴う業務を除く

9 經營報告

令和3年度 診療科別患者数等管理数値

診療科	外来(242日)										入院(365日)																																																	
	新患者数					延患者数					1日平均					新入院数					退院数					延患者数					1日平均					在院日数					救急患者																			
	当年度	前年度	増減	増減率	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	増減率										
総合内科	502	542	-40	-7.4%	942	1,385	-443	-32.0%	3.9	5.7	198	198	0	0.0%	4	305	306	-1	-0.3%	0.8	0.8	2.8	2.9	296	232	248	83.8%																																	
糖尿病内分沁内科	527	522	5	1.0%	13,114	12,125	989	8.2%	54.2	49.9	356	390	-34	-8.7%	426	5,736	5,697	39	0.7%	15.7	15.6	10.5	10.0	81	67	73	90.1%																																	
血液内科	171	156	15	9.6%	4,784	4,416	368	8.3%	19.8	18.2	360	450	-90	-20.0%	372	7,268	9,364	-2,096	-22.4%	19.9	25.7	17.6	17.4	38	28	35	92.1%																																	
腎臓内科	237	252	-15	-6.0%	7,493	7,275	218	3.0%	31.0	29.9	356	376	-20	-5.3%	442	5,871	6,666	-795	-11.9%	16.1	18.3	10.8	11.3	104	84	98	94.2%																																	
膠原病リウマチ科	229	232	-3	-1.3%	9,507	8,989	518	5.8%	39.3	37.0	85	96	-11	-11.5%	141	2,942	2,764	178	6.4%	8.1	7.6	17.3	14.2	19	16	18	94.7%																																	
緩和ケア内科	0	138	-138	-100.0%	91	264	-173	-65.5%	1.9	1.1	0	73	-73	-100.0%	5	12	1,698	-1,686	-99.3%	0.0	4.7	(2.8)	(16.8)	0	0	0	0.0%																																	
呼吸器内科	737	724	13	1.8%	11,489	11,616	-127	-1.1%	47.5	47.8	956	878	78	8.9%	933	14,001	13,096	905	6.9%	38.4	35.9	10.4	10.6	657	586	624	95.0%																																	
消化器内科	2,045	1,835	210	11.4%	25,118	22,239	2,879	12.9%	103.8	91.5	2,015	2,014	1	0.0%	1,997	18,783	21,037	-2,254	-10.7%	51.5	57.6	8.4	9.5	943	660	800	84.8%																																	
循環器内科	1,355	1,190	165	13.9%	18,798	16,075	2,723	16.9%	77.7	66.2	1,526	1,565	-39	-2.5%	1,527	12,500	14,079	-1,579	-11.2%	34.2	38.6	5.8	6.3	450	384	400	88.9%																																	
脳神経内科	618	526	92	17.5%	7,645	6,778	867	12.8%	31.6	35.1	599	465	134	28.8%	619	9,719	9,639	80	0.8%	26.6	26.4	11.6	13.9	304	262	269	88.5%																																	
アレルギー科	229	283	-54	-19.1%	4,512	6,043	-1,531	-25.3%	18.6	24.9	33	45	-12	-26.7%	33	112	255	-143	-56.1%	0.3	0.7	2.2	4.3	34	24	26	76.5%																																	
小児科	1,924	1,594	330	20.7%	9,414	8,816	598	6.8%	38.9	36.3	703	678	25	3.7%	701	2,635	2,628	7	0.3%	7.2	7.2	3.2	3.5	1,353	652	167	12.3%																																	
外科	484	533	-49	-9.2%	8,514	8,595	-81	-0.9%	35.2	35.4	1,014	1,004	10	1.0%	1,043	9,742	11,052	-1,310	-11.9%	26.7	30.3	6.1	6.5	291	171	243	83.5%																																	
乳腺外科	520	439	81	18.5%	9,251	8,808	443	5.0%	38.2	36.2	252	237	15	6.3%	251	2,102	1,947	155	8.0%	5.8	5.3	7.3	7.0	18	6	7	38.9%																																	
呼吸器外科	20	19	1	5.3%	2,033	1,587	446	28.1%	14.2	10.8	44	50	-6	-12.0%	59	498	474	24	5.1%	1.4	1.3	3.8	3.2	2	2	2	100.0%																																	
心臓血管外科	171	148	23	15.5%	2,740	2,510	230	9.2%	19.2	17.1	232	200	32	16.0%	253	4,559	4,146	413	10.0%	12.5	11.4	5.9	5.6	73	55	60	82.2%																																	
脳神経外科	461	488	-27	-5.5%	2,827	2,886	-61	-2.1%	19.8	19.6	352	373	-21	-5.6%	346	6,318	6,469	-151	-2.3%	17.3	17.7	10.0	9.4	339	263	274	80.8%																																	
整形外科	1,984	1,782	202	11.3%	21,752	19,523	2,229	11.4%	89.9	80.3	1,207	1,218	-11	-0.9%	1,250	17,135	18,101	-966	-5.3%	46.9	49.6	10.5	10.7	525	330	348	66.3%																																	
形成外科	269	260	9	3.5%	2,767	2,569	198	7.7%	14.3	13.2	120	101	19	18.8%	126	1,937	1,945	-8	-0.4%	5.3	5.3	12.5	14.4	24	15	10	41.7%																																	
皮膚科	727	792	-65	-8.2%	8,030	7,843	187	2.4%	34.3	32.3	128	147	-19	-12.9%	126	1,319	1,779	-460	-25.9%	3.6	4.9	8.0	9.9	64	29	34	53.1%																																	
泌尿器科	840	750	90	12.0%	11,106	10,739	367	3.4%	45.9	44.2	813	852	-39	-4.6%	817	6,884	8,486	-1,602	-18.9%	18.9	23.2	7.8	9.1	205	77	95	46.3%																																	
産婦人科	1,301	1,120	181	16.2%	19,124	16,764	2,360	14.1%	79.0	69.0	1,003	908	95	10.5%	1,001	8,731	7,398	1,333	18.0%	23.9	20.3	7.8	7.3	563	81	373	66.3%																																	
眼科	438	428	10	2.3%	9,140	8,363	777	9.3%	37.8	34.4	300	325	-25	-7.7%	297	888	984	-96	-9.8%	2.4	2.7	2.1	2.4	6	1	1	16.7%																																	
耳鼻いんこう科	1,492	1,473	19	1.3%	13,723	12,901	822	6.4%	56.7	53.1	355	342	13	3.8%	364	3,849	3,578	271	7.6%	10.5	9.8	8.9	8.4	62	19	26	41.9%																																	
リハビリテーション科	0	0	0	0.0%	111	68	43	63.2%	0.0	3.8	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0%																																	
精神科	316	337	-21	-6.2%	11,098	10,557	541	5.1%	56.3	54.4	194	186	8	4.3%	221	8,525	8,032	493	6.1%	23.4	22.0	38.2	31.3	46	16	42	91.3%																																	
放射線診断科	202	1,176	-974	-82.8%	264	1,366	-1,102	-80.7%	1.4	7.0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0%																																	
放射線治療科	30	31	-1	-3.2%	4,606	4,423	183	4.1%	23.9	22.8	33	33	0	0.0%	34	519	602	-83	-13.8%	1.4	1.6	13.7	16.8	0	0	0	0.0%																																	
歯科口腔外科	2,380	2,458	-78	-3.2%	14,906	14,499	407	2.8%	61.6	59.7	384	379	5	1.3%	385	682	685	-3	-0.4%	1.9	1.9	0.8	0.8	5	2	4	80.0%																																	
救急科	8,857	7,706	1,151	14.9%	11,853	10,582	1,271	12.0%	32.5	29.0	733	638	95	14.9%	515	8,114	7,046	1,068	15.2%	22.2	19.3	6.9	6.9	11,433	8,014	861	7.5%																																	
麻酔科	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0	0	0	0.0%	0	0	0	0	0.0%	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0	0	0.0%																																	
合計	29,066	27,934	1,132	4.1%	266,752	250,606	16,146	6.4%	1,102.3	1,031.3	14,351	14,221	130	0.9%	14,288	161,686	169,953	-8,267	-4.9%	443.0	465.6	8.3	8.7	17,935	12,076	5,138	28.6%																																	
令和3年度	病床利用率(634床)・・・69.9%										紹介率・・・79.7%										逆紹介率・・・107.5%										分娩件数・・・566件										単独に計算した入院日数・・・10.29日										令和2年度									
令和2年度	病床利用率(634床)・・・73.4%										紹介率・・・78.2%										逆紹介率・・・105.0%										分娩件数・・・493件										単独に計算した入院日数・・・10.93日										増減									

令和3年度 診療科別患者数等管理数値

診療科	外来診療収入						入院診療収入						入外合計額				手術									
	診療収入			収入単価			診療収入			診療収入(室料差額除)			収入単価			当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	
	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度	増減	増減率	当年度	前年度
総合内科	12,151	14,964	-2,813	-18.8%	12,899	10,804	2,095	19.4%	24,483	23,671	812	3.4%	23,580	22,648	932	4.1%	77,310	74,012	3,298	4.5%	36,633	38,635	-2,001	-5.2%	0	0
糖尿病内分沁内科	224,508	203,823	20,685	10.1%	17,120	16,810	310	1.8%	298,824	291,253	7,571	1.9%	287,034	278,397	8,637	3.1%	50,041	48,867	1,173	2.4%	521,332	495,076	26,256	5.3%	0	0
血液内科	238,662	243,797	-5,135	-2.1%	49,888	55,208	-5,320	-9.6%	588,982	731,332	-144,350	-19.7%	570,951	709,452	-138,501	-19.5%	78,557	75,764	2,793	3.7%	825,644	975,129	-149,484	-15.3%	0	0
腎臓内科	183,039	181,431	1,608	0.9%	24,428	24,933	-511	-2.0%	348,219	378,723	-30,504	-8.1%	335,926	365,302	-29,376	-8.0%	57,218	54,801	2,417	4.4%	531,259	560,154	-28,896	-5.2%	122	116
膠原病リウマチ科	315,373	288,908	26,466	9.2%	33,173	32,140	1,033	3.2%	158,479	155,843	2,636	1.7%	150,106	147,501	2,605	1.8%	51,022	53,365	-2,343	-4.4%	473,852	444,751	29,102	6.5%	0	0
緩和ケア内科	320	1,793	-1,473	-82.1%	3,519	6,793	-3,275	-48.2%	891	109,778	-108,887	-99.2%	855	93,023	-92,168	-99.1%	71,236	54,784	16,452	30.0%	1,211	111,571	-110,360	-98.9%	0	0
呼吸器内科	322,572	339,651	-17,079	-5.0%	28,077	29,240	-1,163	-4.0%	1,206,050	926,913	279,137	30.1%	1,156,507	888,405	268,102	30.2%	82,602	67,838	14,764	21.8%	1,528,622	1,266,564	262,058	20.7%	0	6
消化器内科	416,816	309,523	107,293	34.7%	16,594	13,918	2,676	19.2%	1,200,562	1,280,728	-80,165	-6.3%	1,143,687	1,219,962	-76,275	-6.3%	60,885	57,991	2,894	5.0%	1,617,379	1,590,251	27,128	1.7%	7	4
循環器内科	235,132	211,667	23,465	11.1%	12,508	13,167	-659	-5.0%	2,446,097	2,600,843	-154,746	-5.9%	2,409,166	2,562,767	-153,602	-6.0%	192,733	182,028	10,706	5.9%	2,681,229	2,812,510	-131,280	-4.7%	261	245
脳神経内科	206,827	140,507	66,321	47.2%	27,054	20,730	6,324	30.5%	588,445	575,812	12,633	2.2%	570,216	547,322	22,894	4.2%	58,670	56,782	1,888	3.3%	795,272	716,319	78,954	11.0%	0	0
アレルギー内科	46,963	67,976	-21,013	-30.9%	10,408	11,249	-840	-7.5%	7,630	10,282	-2,651	-25.8%	7,048	9,600	-2,552	-26.6%	62,933	37,645	25,287	67.2%	54,593	78,257	-23,664	-30.2%	0	0
小児科	84,758	80,787	3,972	4.9%	9,003	9,164	-160	-1.7%	136,787	132,391	4,396	3.3%	136,301	129,811	6,490	5.0%	51,727	49,395	2,332	4.7%	221,545	213,178	8,368	3.9%	0	0
外科	277,614	330,802	-53,188	-16.1%	32,607	38,488	-5,881	-15.3%	921,760	1,027,535	-105,775	-10.3%	899,728	985,398	-85,670	-8.7%	91,329	89,160	2,169	2.4%	1,199,374	1,358,337	-158,963	-11.7%	760	798
乳腺外科	343,603	316,126	27,476	8.7%	37,142	35,891	1,251	3.5%	211,645	196,212	15,433	7.9%	198,810	186,205	12,605	6.8%	94,582	95,637	-1,055	-1.1%	555,248	512,339	42,909	8.4%	246	235
呼吸器外科	28,783	37,000	-8,217	-22.2%	14,158	23,314	-9,156	-39.3%	76,871	82,247	-5,376	-6.5%	74,953	79,710	-4,757	-6.0%	150,507	168,164	-17,657	-10.5%	105,654	119,247	-13,593	-11.4%	59	65
心臓血管外科	29,060	26,566	2,494	9.4%	10,606	10,584	22	0.2%	1,024,470	1,024,248	222	0.0%	1,014,427	1,015,910	-1,483	-0.1%	222,511	245,034	-22,523	-9.2%	1,053,530	1,050,814	2,716	0.3%	250	247
脳神経外科	35,720	53,212	-17,493	-32.9%	12,635	18,425	-5,790	-31.4%	581,744	625,442	-43,698	-7.0%	571,710	614,917	-43,207	-7.0%	90,489	95,056	-4,567	-4.8%	617,464	678,654	-61,190	-9.0%	164	163
整形外科	191,398	169,827	21,571	12.7%	8,799	8,695	100	1.2%	1,567,193	1,634,104	-66,911	-4.1%	1,521,021	1,587,977	-66,956	-4.2%	88,767	87,729	1,038	1.2%	1,758,591	1,803,931	-45,340	-2.5%	1,315	1,287
形成外科	16,165	15,018	1,147	7.6%	5,842	5,846	-4	-0.1%	129,259	117,904	11,355	9.6%	123,964	113,608	10,356	9.1%	63,998	58,411	5,587	9.6%	145,424	132,922	12,502	9.4%	288	258
皮膚科	39,423	36,438	2,986	8.2%	4,910	4,646	264	5.7%	65,250	81,085	-15,835	-19.5%	61,771	76,276	-14,505	-19.0%	48,832	42,876	3,956	9.2%	104,673	117,523	-12,849	-10.9%	152	141
泌尿器科	225,675	219,073	6,601	3.0%	20,320	20,400	-80	-0.4%	529,563	608,203	-78,640	-12.9%	506,090	582,438	-76,348	-13.1%	73,517	68,635	4,882	7.1%	755,238	827,276	-72,039	-8.7%	530	553
産婦人科	156,382	136,548	19,834	14.5%	8,177	8,145	32	0.4%	749,404	658,990	90,405	13.7%	715,789	630,590	85,200	13.5%	81,983	85,238	-3,255	-3.8%	905,786	795,548	110,238	13.9%	380	346
眼科	93,685	75,085	18,600	24.8%	10,250	8,976	1,272	14.2%	75,934	81,322	-5,388	-6.6%	73,463	78,602	-5,139	-6.5%	82,729	79,880	2,849	3.6%	169,619	156,407	13,212	8.4%	410	361
耳鼻いんこう科	174,152	148,921	25,231	16.9%	12,691	11,543	1,147	9.9%	252,942	229,256	23,686	10.3%	239,897	215,339	24,558	11.4%	62,327	60,184	2,143	3.6%	427,094	378,178	48,916	12.9%	211	187
リハビリテーション科	422	192	230	120.2%	3,802	2,819	984	34.9%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	422	192	230	120.2%	0	0
精神科	70,821	68,073	2,748	4.0%	6,381	6,448	-67	-1.0%	309,246	292,065	17,181	5.9%	303,484	287,704	15,780	5.5%	35,599	35,820	-220	-0.6%	380,067	360,138	19,929	5.5%	355	334
放射線診断科	19,157	43,147	-23,991	-55.6%	72,564	31,587	40,977	129.7%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	19,157	43,147	-23,991	-55.6%	0	0
放射線治療科	106,709	99,196	7,513	7.6%	23,167	22,427	740	3.3%	36,170	36,899	-723	-2.0%	34,372	36,286	-1,914	-5.3%	66,228	60,275	5,953	9.9%	142,879	136,089	6,789	5.0%	0	0
歯科口腔外科	114,241	112,245	1,997	1.8%	7,664	7,742	-77	-1.0%	51,678	57,188	-5,510	-9.6%	50,153	54,842	-4,690	-8.6%	73,537	80,062	-6,524	-8.1%	165,920	169,433	-3,513	-2.1%	377	370
救急科	288,850	261,459	27,392	10.5%	24,369	24,708	-338	-1.4%	1,305,078	916,760	388,318	42.4%	1,297,130	908,590	388,540	42.8%	159,863	128,951	30,912	24.0%	1,593,928	1,178,219	415,709	35.3%	5	2
麻酔科	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0
合計	4,498,983	4,233,755	265,228	6.3%	16,866	16,894	-28	-0.2%	14,889,658	14,887,031	2,627	0.0%	14,468,137	14,428,581	39,556	0.3%	89,483	84,897	4,585	5.4%	19,388,641	19,120,787	267,854	1.4%	5,892	5,718

単位/千円	人間ドック		健康診断		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
令和3年度	2,332	160,116	9,269	72,044	11,601	232,160
令和2年度	2,025	137,778	7,814	60,363	9,839	198,142
増減	307	22,338	1,455	11,681	1,762	34,019
増減率	15.2%	16.2%	18.6%	19.4%	17.9%	17.2%

9-2 中央部門業務報告

放射線科部業務実績(月別)

令和3年度放射線科部業務実績

		令和3年度 (2021年度)												合計	
		人数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般	一般撮影	人数	3,726	3,996	4,627	4,445	4,336	4,090	4,236	4,455	4,668	4,820	4,065	4,957	52,441
	MMG	人数	156	140	247	228	203	211	254	227	246	201	181	264	2,558
	骨塩定量	人数	140	173	198	179	198	177	195	202	200	200	152	221	2,235
	OP、ポータブル	人数	1,191	1,379	1,293	1,325	1,529	1,295	1,189	1,123	1,244	1,635	1,607	1,740	16,550
	その他(歯科・画像取込等)	人数	792	814	905	914	859	928	863	936	1,019	989	861	1,141	11,021
	合計	人数	6,005	6,502	7,270	7,091	7,125	928	6,737	6,943	7,377	7,845	6,886	8,323	79,032
造影	血管造影検査	人数	172	158	162	172	166	118	165	183	204	203	106	168	1,977
	ハイブリッドOP室	人数	33	33	38	37	30	27	32	32	33	40	23	44	402
	消化器造影透視検査	人数	99	96	137	139	165	190	161	145	177	146	128	172	1,755
	泌尿器造影透視検査	人数	52	39	48	42	47	39	37	54	41	47	38	51	535
	他透視造影	人数	56	57	29	39	38	32	32	53	49	55	43	60	543
CT	一般診療CT(2F)	人数	1,794	1,694	1,955	1,735	1,714	1,788	1,879	1,899	1,933	1,905	1,764	2,096	22,156
	救急CT	人数	720	817	795	847	836	768	790	823	939	1,149	1,042	1,149	10,675
	合計	人数	2,514	2,511	2,750	2,582	2,550	2,556	2,669	2,722	2,872	3,054	2,806	3,245	32,831
MRI	1.5T	人数	477	410	499	406	448	411	432	459	471	435	398	480	5,326
	3.0T	人数	282	270	350	307	302	306	332	345	337	299	262	336	3,728
	合計	人数	759	680	849	713	750	717	764	804	808	734	660	816	9,054
核医学	RI	人数	120	113	124	99	91	106	104	115	125	98	97	134	1,326
	PET/CT	人数	87	73	84	87	85	79	84	99	106	94	72	74	1,024
治療	新規患者数	人数	14	22	25	21	24	21	24	24	17	21	14	18	245
	述べ照射件数	件数	508	517	636	535	617	645	633	564	659	498	513	486	6,811

令和3年度 臨床検査部業務実績

検査項目	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		計		
	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)	件数(項目数)	件数(検体数)			
検体検査	一般(ワラフ)	8,526	7,743	9,365	9,124	9,258	9,141	9,199	9,339	9,114	9,339	9,114	9,339	9,114	9,339	9,114	9,339	9,114	9,339	9,114	9,339	9,114	9,339	9,114	9,339	108,618	
	血液(検体数)	20,188	19,535	21,011	20,542	21,475	20,285	19,698	20,571	21,077	22,393	20,446	23,482	21,077	22,393	20,446	23,482	21,077	22,393	20,446	23,482	21,077	22,393	20,446	23,482	251,083	
	血液凝固(ワラフ)	2,400	8,008	8,527	8,127	9,216	8,204	7,782	8,037	8,489	8,913	8,468	8,297	8,037	8,489	8,913	8,468	8,297	8,037	8,489	8,913	8,468	8,297	8,037	8,489	100,478	
	生化学(ワラフ)	163,543	159,649	175,713	169,717	177,032	168,476	167,867	170,811	176,706	187,949	171,293	196,219	176,706	187,949	171,293	196,219	176,706	187,949	171,293	196,219	176,706	187,949	171,293	196,219	2,086,376	
	免疫血液(ワラフ)	7,073	6,560	7,550	7,368	7,926	7,110	7,360	7,976	8,028	8,237	7,963	8,460	7,976	8,028	8,237	7,963	8,460	7,976	8,028	8,237	7,963	8,460	7,976	8,028	89,981	
	一般細菌	1,467	1,460	1,481	1,736	1,828	1,656	1,330	1,828	1,602	1,918	1,967	1,994	1,330	1,828	1,602	1,918	1,967	1,994	1,330	1,828	1,602	1,918	1,967	1,994	19,775	
	培養菌便検査	14	14	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	238	
	抗酸菌	81	77	91	80	89	91	95	111	105	101	111	111	105	101	111	105	101	111	105	101	111	105	101	111	1,146	
	迅速検査(ワラフ)	158	184	184	223	207	149	117	121	166	222	195	138	121	166	222	195	138	121	166	222	195	138	121	166	2,124	
	血液ガス(ワラフ)	1,131	1,073	1,205	1,274	1,434	1,195	1,202	1,227	1,410	1,601	1,545	1,620	1,227	1,410	1,601	1,545	1,620	1,227	1,410	1,601	1,545	1,620	1,227	1,410	15,917	
	合計	211,581	204,803	225,247	218,221	227,865	216,341	214,283	219,398	226,953	240,063	219,825	251,645	219,398	226,953	240,063	219,825	251,645	219,398	226,953	240,063	219,825	251,645	219,398	226,953	2,675,735	
	心電図	2,430	2,273	2,570	2,513	2,591	2,344	2,394	2,591	2,344	2,394	2,591	2,344	2,394	2,591	2,344	2,394	2,591	2,344	2,394	2,591	2,344	2,394	2,591	2,344	30,765	
	真向心電図	9	6	15	13	21	4	4	11	10	4	11	9	10	9	4	11	9	10	9	4	11	9	10	9	4	122
	ホルター心電図	120	120	127	116	125	118	133	127	115	123	111	127	115	123	111	127	115	123	111	127	115	123	111	127	115	1,462
	血圧脈波検査	121	100	112	122	100	97	106	118	100	109	88	109	100	109	88	109	100	109	88	109	100	109	88	109	100	1,295
自律神経検査	41	36	43	23	33	17	40	27	34	40	27	24	34	40	27	24	34	40	27	24	34	40	27	24	361		
呼吸機能	139	114	112	122	104	112	151	139	155	139	109	145	139	155	139	109	145	139	155	139	109	145	139	109	145	1,541	
脳電図検査	4	3	4	3	4	6	7	6	7	6	7	6	7	6	7	6	7	6	7	6	7	6	7	6	7	54	
脳波	75	66	51	49	74	60	58	61	70	58	60	74	61	70	58	60	74	61	70	58	60	74	61	70	58	746	
神経生理検査	81	64	95	63	69	60	86	68	68	61	68	68	68	68	61	68	68	68	61	68	68	68	68	61	68	636	
OA	76	63	54	58	57	50	71	57	57	62	40	62	57	57	62	40	62	57	57	62	40	62	57	57	62	687	
体液量測定	1	3	5	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	4	2	46	
SPP	2	7	9	16	11	13	3	8	9	11	15	15	8	9	11	15	15	8	9	11	15	15	8	9	11	119	
耳鼻科検査	627	617	827	661	631	690	689	675	787	649	532	849	675	787	649	532	849	675	787	649	532	849	675	787	649	8,234	
心エコー	704	621	737	692	657	688	711	752	682	682	752	752	688	711	752	682	682	752	682	682	752	752	682	682	752	8,240	
その他エコー	852	807	1,040	913	996	969	1,030	1,044	1,052	949	841	1,023	1,044	1,052	949	841	1,023	1,044	1,052	949	841	1,023	1,044	1,052	949	11,516	
心カテ	148	124	131	131	130	84	120	142	163	156	162	159	142	163	156	162	159	142	163	156	162	159	142	163	156	1,564	
アレルギー	191	202	234	236	151	85	120	245	230	245	89	112	245	230	245	89	112	245	230	245	89	112	245	230	245	2,060	
合計	5,621	5,226	6,166	5,740	5,663	5,363	5,911	6,085	6,353	6,164	6,422	6,353	6,353	6,164	6,422	6,353	6,164	6,422	6,353	6,164	6,422	6,353	6,164	6,422	6,353	69,648	
組織診断	583	443	553	516	555	481	559	573	623	533	592	601	573	623	533	592	601	573	623	533	592	601	573	623	533	6,550	
迅速診断	28	17	24	24	22	23	34	22	22	21	29	22	22	21	29	22	22	21	29	22	22	21	29	22	22	290	
細胞診断	360	347	405	369	395	408	427	456	442	383	333	408	456	442	383	333	408	456	442	383	333	408	456	442	333	4,733	
その他	51	43	70	70	56	50	48	45	57	52	48	48	45	57	52	48	48	45	57	52	48	48	45	57	52	628	
精製解剖	2	3	1	1	0	2	0	1	0	2	1	2	0	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	16	
合計	977	856	1,053	960	1,028	946	1,068	1,097	1,151	989	1,004	1,088	1,097	1,151	989	1,004	1,088	1,097	1,151	989	1,004	1,088	1,097	1,151	989	12,217	
血液型	639	581	669	674	609	563	625	705	726	779	662	757	705	726	779	662	757	705	726	779	662	757	705	726	779	8,009	
不規則抗体	638	528	621	645	603	567	608	666	689	731	632	724	666	689	731	632	724	666	689	731	632	724	666	689	731	7,652	
クロスマツチ	337	304	316	345	324	290	338	336	392	367	354	359	336	392	367	354	359	336	392	367	354	359	336	392	367	4,062	
その他	16	22	16	21	23	28	28	21	20	24	24	26	20	20	24	24	26	20	20	24	24	26	20	20	24	233	
合計	1,650	1,435	1,642	1,685	1,559	1,448	1,592	1,727	1,813	1,901	1,658	1,866	1,727	1,813	1,901	1,658	1,866	1,727	1,813	1,901	1,658	1,866	1,727	1,813	1,901	19,956	
I-RBC	201	120	141	138	138	201	189	135	195	126	510	492	195	126	510	492	369	126	510	492	369	126	510	492	369	2,817	
IFPP	690	670	630	885	1,130	2,080	1,065	655	560	640	740	790	655	560	640	740	790	655	560	640	740	790	655	560	640	10,535	
I-PC	6	6	0	6	4	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	30	
合計	1,482	1,275	1,325	1,563	1,924	2,884	1,781	1,358	1,358	1,788	1,860	2,072	1,358	1,358	1,788	1,860	2,072	1,358	1,358	1,788	1,860	2,072	1,358	1,358	1,788	20,472	
NIOX	152	153	194	177	109	52	63	187	189	129	49	76	187	189	129	49	76	187	189	129	49	76	187	189	129	1,530	
マストグラフ	15	16	16	16	14	9	9	21	22	15	14	10	22	15	14	10	9	21	22	15	14	10	9	21	22	187	
スバロ外ロー	12	13	6	17	11	13	14	18	13	13	13	12	18	13													

中央部門業務報告(処方箋枚数)

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院 処方	11,423	10,660	11,443	11,277	11,346	9,832	10,413	11,790	11,745	12,059	10,957	12,946	135,891
入院 注射	10,525	10,776	10,527	10,284	11,179	9,761	9,719	10,213	10,927	12,314	12,014	12,955	131,194
外来 処方	46	43	54	59	124	75	47	41	43	53	102	70	757
外来 時間外処方	366	326	345	492	600	352	366	344	397	492	428	487	4,995
外来 注射	2,042	1,818	2,074	1,960	2,104	1,999	1,998	2,237	2,199	2,116	1,913	2,217	24,677
院外処方箋	10,031	9,098	10,656	9,930	9,802	10,170	9,926	9,919	10,658	9,970	9,131	11,347	120,638
抗がん剤調製件数	645	519	566	554	566	595	568	553	550	550	536	593	6,795
TPN調製件数	39	4	7	20	44	36	30	81	67	54	25	62	469
薬剤管理指導算定件数	1,988	1,727	2,006	1,835	1,890	1,607	1,686	1,907	1,860	1,871	1,659	1,897	21,933
薬剤管理指導麻薬加算	42	54	45	36	42	38	36	38	26	42	33	53	485
退院時指導算定件数	634	596	751	719	663	573	655	674	745	611	592	737	7,950
がん指導管理料A算定件数	99	79	81	91	87	87	83	87	76	73	84	83	1,010
特定薬剤治療管理料2算定件数	8	6	7	9	9	12	10	11	7	11	13	11	114
連携充実加算算定件数	68	68	74	81	86	69	63	71	53	57	62	66	818

中央部門業務報告（栄養課）

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
一般食	16,045 件数	16,881	16,078	16,482	17,143	14,706	15,522	15,066	16,925	17,091	17,036	18,627	197,602
治療食	12,575 件数	12,936	12,922	13,107	12,551	10,322	11,042	13,335	13,632	16,625	14,188	16,470	159,705
調乳	321 件数	238	380	419	294	185	294	348	200	304	233	375	3,591
栄養相談	386 件数	335	407	402	359	319	414	374	384	394	334	394	4,502
合計	29,327 件数	30,390	29,787	30,410	30,347	25,532	27,272	29,123	31,141	34,414	31,791	35,866	365,400

中央部門業務報告(リハビリテーション部)

令和3年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
リ ハ ビ リ	理学療法	3,203	2,982	3,602	3,349	3,157	2,886	3,277	3,271	3,821	3,595	3,390	4,056	40,589
	作業療法	1,125	1,250	1,350	1,372	1,215	1,128	1,312	1,325	1,596	1,473	1,490	1,867	16,503
	言語聴覚療法	542	563	590	594	572	509	484	510	639	579	614	739	6,935
	合計	4,870	4,795	5,542	5,315	4,944	4,523	5,073	5,106	6,056	5,647	5,494	6,662	64,027

中央部門業務報告(内視鏡室)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
上部消化管内視鏡	6,002	4,785	5,462
(内ドック件数)	2,115	1,805	2,030
下部消化管内視鏡	2,697	2,122	2,477
(内ドック件数)	145	101	130
気管支鏡	126	95	87
ERCP	481	371	370
超音波内視鏡	88	226	224

中央部門業務報告（透析室）

令和3年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
透析	血液浄化療法 件数	310	287	213	238	259	326	346	363	314	367	265	315	3,603

中央部門業務報告（手術室）

令和3年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
全身麻酔	347	319	360	311	333	289	316	359	370	370	303	387	4,064
局所麻酔	128	116	141	133	126	93	116	144	134	144	136	172	1,583
脊椎麻酔	13	11	11	11	14	12	13	9	11	18	15	13	151
脊椎・硬膜外併用	9	8	9	11	3	7	9	10	6	7	6	9	94
合計	497	454	521	466	476	401	454	522	521	539	460	581	5,892

9-3 決算書

損益計算書 (令和3年度)

収 益	予算(A)	R3年決算(B)	R2年決算(C)	予算差引額(B-A)	昨年度比(B-C)	対昨年度増減率
みなと赤十字病院事業収益	21,922,039,000	23,171,924,374	22,687,070,006	1,249,885,374	484,854,368	2.14%
医業収益	21,072,273,000	19,376,251,298	19,222,161,915	-1,696,021,702	154,089,383	0.80%
入院収益	15,960,276,000	14,298,371,314	14,406,615,820	-1,661,904,686	-108,244,506	-0.75%
患者延べ数(人)	188,879	161,686	169,953	-27,193	-8,267	-4.86%
1日平均(人)	517	443	466	-75	-23	-4.86%
診療単価(円)	84,500	88,433	84,768	3,933	3,665	4.32%
病床利用率(%)	81.62%	69.87%	73.44%	-0.30%	3.01%	-4.86%
平均在院数(日)		8.3	8.7		-0.40	-4.60%
外来収益	4,288,152,000	4,407,695,468	4,100,297,492	119,543,468	307,397,976	7.50%
患者延べ数(人)	266,712	266,752	250,606	40	16,146	6.44%
1日平均(人)	1,102	1,102	1,031	0	71	6.88%
診療単価(円)	16,078	16,524	16,362	446	162	0.99%
室料差額収益	476,728,000	363,072,020	414,116,830	-113,655,980	-51,044,810	-12.33%
保健予防活動収益	274,400,000	282,876,610	241,205,151	8,476,610	41,671,459	17.28%
受託検査・施設利用収益	4,907,000	6,407,450	5,970,800	1,500,450	436,650	7.31%
その他の医業収益	112,270,000	108,264,828	102,328,929	-4,005,172	5,935,899	5.80%
保険等査定減	-44,460,000	-90,436,392	-48,373,107	-45,976,392	-42,063,285	86.96%
医業外収益(医療社会事業収益含む)	849,766,000	3,795,279,803	3,464,897,092	2,945,513,803	330,382,711	9.54%
受取利息	0	0	0	0	0	
本部繰入金	1,091,000	3,496,132	907,544	2,405,132	2,588,588	285.23%
他会計繰入金	0	585,000	1,270,852	585,000	-685,852	
運営費補助金等収益	501,639,000	3,412,542,342	3,142,599,297	2,910,903,342	269,943,045	8.59%
施設設備費補助金等収益	94,613,000	125,363,720	48,842,338	30,750,720	76,521,382	156.67%
患者外給食収益	0	0	0	0	0	
その他の医業外収益	252,423,000	253,292,609	271,277,061	869,609	-17,984,452	-6.63%
特別利益	0	393,273	10,999	393,273	382,274	3475.53%
固定資産売却益	0	393,273	10,999	393,273	382,274	3475.53%
貸倒引当金戻入益	0	0	0	0	0	
その他前期損益修正益	0	0	0	0	0	
その他特別利益	0	0	0	0	0	

費 用	予算(A)	R3年決算(B)	R2年決算(C)	予算差引額(B-A)	昨年度比(B-C)	対昨年度増減率
みなと赤十字病院事業費用	21,833,662,000	20,521,791,706	20,212,941,513	-1,311,870,294	308,850,193	1.53%
医業費用	21,485,936,000	20,178,960,026	19,835,031,457	-1,306,975,974	343,928,569	1.73%
材料費	6,319,574,000	5,608,421,378	5,621,001,409	-711,152,622	-12,580,031	-0.22%
医薬品費	2,553,959,000	2,317,996,574	2,245,883,667	-235,962,426	72,112,907	3.21%
診療材料費	3,519,070,000	3,079,234,448	3,137,416,553	-439,835,552	-58,182,105	-1.85%
給食材料費	141,184,000	113,905,734	122,187,557	-27,278,266	-8,281,823	-6.78%
医療消耗品費	92,718,000	94,075,426	106,806,684	1,357,426	-12,731,258	-11.92%
棚卸減耗損・評価損	12,643,000	3,209,196	8,706,948	-9,433,804	-5,497,752	-63.14%
給与費	10,358,269,000	9,783,296,616	9,476,250,558	-574,972,384	307,046,058	3.24%
委託費	1,905,273,000	1,876,754,357	1,881,126,947	-28,518,643	-4,372,590	-0.23%
設備関係費	2,054,559,000	2,086,191,328	2,080,432,679	31,632,328	5,758,649	0.28%
減価償却費	737,874,000	750,350,767	697,779,736	12,476,767	52,571,031	7.53%
器械賃借料	148,461,000	94,768,162	138,674,756	-53,692,838	-43,906,594	-31.66%
指定管理者負担金他	680,832,000	684,215,380	683,119,900	3,383,380	1,095,480	0.16%
修繕費	170,149,000	200,183,090	227,706,476	30,034,090	-27,523,386	-12.09%
器械保守料	316,685,000	356,188,055	332,595,794	39,503,055	23,592,261	7.09%
その他	558,000	485,874	556,017	-72,126	-70,143	-12.62%
研究研修費	40,550,000	31,786,680	31,648,547	-8,763,320	138,133	0.44%
経費	807,711,000	792,509,667	744,571,317	-15,201,333	47,938,350	6.44%
通信費	27,500,000	25,568,637	25,311,885	-1,931,363	256,752	1.01%
消耗品費	70,000,000	74,980,034	67,757,279	4,980,034	7,222,755	10.66%
水道光熱費	392,000,000	410,490,387	375,734,646	18,490,387	34,755,741	9.25%
賃借料	55,000,000	53,724,885	53,712,865	-1,275,115	12,020	0.02%
租税公課	23,080,000	46,853,959	27,068,470	23,773,959	19,785,489	73.09%
その他	240,131,000	180,891,765	194,986,172	-59,239,235	-14,094,407	-7.23%
医業外費用(医療奉仕費用含む)	347,726,000	334,115,044	321,789,253	-13,610,956	12,325,791	3.83%
支払利息	8,210,000	5,826,350	10,204,641	-2,383,650	-4,378,291	-42.90%
患者外給食費用材料費	1,059,000	1,037,061	1,045,692	-21,939	-8,631	-0.83%
看護師等委託養成費	25,200,000	19,400,000	24,800,000	-5,800,000	-5,400,000	-21.77%
診療費減免額	2,680,000	6,121,800	4,314,300	3,441,800	1,807,500	41.90%
本部繰出金	23,163,000	21,682,716	17,607,187	-1,480,284	4,075,529	23.15%
他会計繰出金	4,009,000	8,213,139	4,905	4,204,139	8,208,234	167344.22%
退職給付債務変更時差異	0	0	0	0	0	
その他医業外費用	283,405,000	271,833,978	263,812,528	-11,571,022	8,021,450	3.04%
特別損失	0	8,716,636	56,120,803	8,716,636	-47,404,167	-84.47%
固定資産売却損	0	0	67,062	67,062	-67,062	-100.00%
固定資産除却損	0	8,716,636	6,913,743	8,716,636	1,802,893	26.08%
前期損益修正損	0	0	0	0	0	
その他特別損失	0	0	49,139,998	0	-49,139,998	-100.00%
法人税等	0	0	0	0	0	

経常損益(特別収支を除いたもの)	88,377,000	2,658,456,031	2,530,238,297	2,570,079,031	128,217,734	5.07%
医業損益	-413,663,000	-802,708,728	-612,869,542	-389,045,728	-189,839,186	30.98%
純損益	88,377,000	2,650,132,668	2,474,128,493	2,561,755,668	176,004,175	7.11%

貸 借 対 照 表

令和4年 3月31日

(施設名) 横浜市立みなと赤十字病院

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 及 び 純 資 産 の 部			
1. 流動資産				1. 流動負債			
現金		3,568,223		買掛金	1,131,691,952		
預金		3,572,087,817		未払金	1,514,705,108		
医業未収金	3,456,920,474			短期借入金	337,600,000		
貸倒引当金	51,505,380	3,405,415,094		未払費用	85,573,404		
未収金		750,512,430		未払法人税等	0		
有価証券		0		前受金	22,865,534		
医薬品		71,225,533		預り金	18,247,330		
診療材料		0		職員預り金	63,347,921		
給食用材料		1,565,718		前受収益	60,000		
貯蔵品		122,302		賞与引当金	559,431,673		
前渡金		0		資産除去債務	0		
前払費用		51,356,458		その他の流動負債	10,440,703		
未収収益		2,341,877		流動負債合計		3,743,963,625	
短期貸付金		0					
繰延税金資産		0		2. 固定負債			
その他の流動資産		238,702,465		長期借入金	526,400,000		
流動資産合計			8,096,897,917	長期未払金	261,145,968		
				預り出資金	0		
2. 固定資産				退職交付受入金	0		
(1) 有形固定資産				退職給付引当金	5,304,376,684		
建物	128,259,810			医療訴訟引当金	0		
建物減価償却累計額	33,668,196	94,591,614		長期前受補助金等	470,823,016		
建物付属設備	841,401,319			資産除去債務	0		
建物付属設備減価償却累計額	438,678,642	402,722,677		その他の固定負債	0		
構築物	20,522,740			固定負債合計		6,562,745,668	
構築物減価償却累計額	14,002,041	6,520,699					
医療用器械備品	7,122,494,888			負債合計			10,306,709,293
医療用器械備品減価償却累計額	5,998,519,746	1,123,975,142					
その他の器械備品	1,693,581,138			3. 基本金		15,986,453	
その他の器械備品減価償却累計額	1,104,257,199	589,323,939					
車両	1,446,920			補助金等			
車両減価償却累計額	1,417,981	28,939		本社交付金	0		
放射性同位元素	0			支部繰入金	0		
放射性同位元素減価償却累計額	0	0		その他の繰入金	0		
その他の有形固定資産	66,871,500			補助金	0		
その他の有形固定資産減価償却累計額	61,895,305	4,976,195		寄付金	54,040,000		
土地	0			固定資産再評価益(損)金	2,566,395		
建設仮勘定	0			固定資産処分益(損)金	0		
有形固定資産合計		2,222,139,205		4. 補助金等合計		56,606,395	
(2) 無形固定資産				利益剰余金			
借地権	0			当期末処分利益(損失)	2,936,906,526		
ソフトウェア	31,498,210			5. 利益剰余金合計		2,936,906,526	
その他の無形固定資産	41,125						
無形固定資産合計		31,539,335		有価証券評価差額金		0	
(3) その他の資産				純資産合計			3,009,499,374
有価証券	0						
長期貸付金	65,000,000						
預金	0						
長期未収金	0						
長期前払費用	7,397,297						
施設整備準備積立金	0						
病院建物建設資金出資金	773,252,916						
病院財政調整事業資金出資金	359,877,395						
出資金	217,850						
退職拠出金	1,759,875,712						
前払年金費用	0						
預託金	11,040						
繰延税金資産	0						
その他の固定資産	0						
その他の資産合計		2,965,632,210					
固定資産合計			5,219,310,750				
資産合計			13,316,208,667	負債及び純資産合計			13,316,208,667

令和3年度キャッシュ・フロー計算書

(単位:円)

	金額
1. 業務活動によるキャッシュ・フロー	
税引前当期純利益	2,650,132,668
減価償却費	757,023,288
所有有形固定資産減価償却費	540,382,212
リース有形固定資産減価償却費	206,403,869
所有無形固定資産減価償却費	10,237,207
リース無形固定資産減価償却費	0
長期前払費用減価償却費	0
貸倒引当金の増減	-4,950,073
賞与引当金の増減	71,680,392
医療訴訟引当金の増減	0
退職給付引当金の増減	-479,296,691
退職拠出金の増減	-134,893,328
前払年金費用の増減	0
退職交付受入金の増減	0
その他の引当金の増減	0
施設設備補助金等収益	-132,036,243
受取利息	0
支払利息	5,826,350
有形固定資産売却損	0
有形固定資産除却損	8,716,636
無形固定資産売却損	0
無形固定資産除却損	0
前期損益修正損	0
固定資産取得価額修正	0
減価償却費修正	0
その他	0
その他特別損失	0
有形固定資産売却益	-393,273
無形固定資産売却益	0
前期損益修正益	0
固定資産取得価額修正	0
減価償却費修正	0
その他	0
その他特別利益	0
医業未収金の増減	180,281,915
未収金の増減	1,360,704,927
医薬品の増減	-13,716,536
診療材料の増減	0
給食用材料の増減	-131,663
貯蔵品の増減	2,526
前渡金の増減	0
前払費用の増減	-1,130,976
未収収益の増減	-66,460
その他流動資産の増減	17,233,967
買掛金の増減	-171,448,162
未払金の増減	-55,297,618
未払費用の増減	-57,145,230
前受金の増減	-13,442,339
預り金の増減	-3,851,437
職員預り金の増減	-75,950,145
前受収益の増減	0
その他の流動負債の増減	-172,190,767
その他	19,200,000
小計	3,754,861,728
利息の受取額	0
利息の支払額	-5,826,350
法人税等の支払額	0
業務活動によるキャッシュ・フロー(A)	3,749,035,378

2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	0
定期預金の払戻による収入	0
有価証券の取得による支出	0
有価証券の償還等による収入	0
所有有形固定資産の取得による支出	-524,473,420
所有有形固定資産の売却による収入	572,000
所有無形固定資産の取得による支出	-11,194,581
所有無形固定資産の売却による収入	0
長期前払費用の取得による支出	0
施設設備補助金等の受入による収入	310,485,736
短期貸付金の増減	0
長期貸付による支出	-19,000,000
長期貸付金の回収による収入	12,000,000
病院建物建設資金出資金の払込による支出	-34,599,891
病院建物建設資金出資金の返還による収入	0
病院財政調整事業資金出資金の払込による支出	-7,688,865
病院財政調整事業資金出資金の返還による収入	0
出資金の払込による支出	0
出資金の返還による収入	0
預託金の預入による支出	0
預託金の払戻による収入	0
その他の固定資産による支出	0
その他の固定資産による収入	0
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー(B)	-273,899,021
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金増減	-1,000,000,000
長期借入による収入	100,000,000
長期借入金の返済による支出	-677,600,000
リース債務未払金の返済による支出	-206,240,899
預り出資金の受入による収入	0
預り出資金の払戻による支出	0
その他の固定負債による支出	0
その他の固定負債による収入	0
財務活動によるキャッシュ・フロー(C)	-1,783,840,899
4. 現金及び現金同等物の増加額(A+B+C)	1,691,295,458
5. 現金及び現金同等物期首残高	1,884,360,582
6. 現金及び現金同等物期末残高	3,575,656,040

※ 病院収益合計	23,171,924,374
※ 病院費用合計	20,521,791,706
※ 法人税等計	0